

2027年度

広島修道大学大学院

# 入学試験要項

経済科学研究科

博士前期課程

博士後期課程

# 目 次

学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）	1
入学試験制度と評価	4
〔博士前期課程〕	
概 要	7
授業科目および担当教員	12
募集要項	15
Ⅰ. 一般入学試験	19
Ⅱ. 資格取得者入学試験	21
Ⅲ. 学部生推薦入学試験	23
Ⅳ. 大学院生入学試験	25
Ⅴ. 外国人留学生入学試験	27
Ⅵ. 外国人留学生推薦入学試験	29
Ⅶ. 社会人入学試験	31
Ⅷ. シニア特別入学試験	33
専門科目出題分野一覧	35
〔博士後期課程〕	
概 要	37
授業科目および担当教員	40
募集要項	42
●一般入学試験	
●外国人留学生入学試験	
●社会人入学試験	
●シニア特別入学試験	
本学への交通案内・キャンパス案内	48
受験上の注意	49
【本学所定出願書類】	
入学志願票・受験票・照合票	長期履修学生願（社会人・シニア用 希望者のみ）
研究計画書	履歴書（外国人留学生用）
推薦書	留学にかかる収入予定書（外国人留学生用）
	諸納付金減免申請書（外国人留学生用）

## ■ 個人情報の取り扱いについて

出願・入学手続における登録情報および出願書類に記載されている、氏名・性別・生年月日・住所・写真・その他の個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」ならびに学校法人修道学園が定める「学校法人修道学園個人情報の保護に関する規程」および「個人情報の保護に関する方針」に基づき、取得した個人情報の漏洩、流出、不正利用等がないよう必要かつ適正な管理を行い、入学試験の実施、入学手続、入学予定者に対して行う各種事業、入学者に対する入学後の教育指導及び、これらに付随する業務のために使用するほか、個人が特定できない形に処理した上で、入学試験制度に関する各種統計処理等のために利用します。

また、上記業務の一部を外部業者等に委託し、個人データを提供する場合があります。その場合、本学が委託先に対し、契約等により必要な事項等を定めることで、当該個人データの安全管理が図られるよう必要かつ適切な監督を行います。

なお、本学の個人情報保護への取り組みについては、下記の2次元コードからご確認ください。

<https://www.shudo-u.ac.jp/privacy.html>



詳細は本学公式Webサイトをご覧ください。

#### 〔博士前期課程〕

##### 1. 入学者に求める能力

経済科学研究科博士前期課程では、経済社会・情報社会に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて博士前期課程での学修に必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力を有し、経済学又はシステム科学・情報科学の分野において高度な研究活動に携わろうとする者、高度な専門的職業に携わろうとする者、自身の実務目的や生涯目的として高度な専門的研究を行おうとする者を求めます。

##### 2. 入学後に涵養する能力

経済科学研究科博士前期課程の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるごとく、知識・技能、思考力・判断力・表現力と協創力を高度に涵養し、経済学又はシステム科学・情報科学の分野において専門的研究や専門的職業に携わる高度な能力を有する人材として養成します。

#### 〔博士後期課程〕

##### 1. 入学者に求める能力

経済科学研究科博士後期課程では、経済社会・情報社会に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて博士後期課程での学修に必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力を高度に有し、経済学又はシステム科学・情報科学の分野において高度な研究活動に携わろうとする者、高度な専門的職業に携わろうとする者、自身の実務目的や生涯目的として高度な専門的研究を行おうとする者を求めます。

##### 2. 入学後に涵養する能力

経済科学研究科博士後期課程の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるごとく、知識・技能、思考力・判断力・表現力と協創力を極めて高度に涵養し、経済学又はシステム科学・情報科学の分野において専門的研究や専門的職業に携わる高度な能力を有する人材として養成します。

詳細は本学公式Webサイトをご覧ください。

#### 〔博士前期課程〕

##### 1. 入学者に求める能力

現代経済システム専攻博士前期課程では、経済社会に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて、博士前期課程での学修に必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力（以下、学力の3要素を有し、経済学やその関連分野において高度な研究活動に携わろうとする者、高度な専門的職業に携わろうとする者、自身の実務目的や生涯目的として高度な専門的研究を行おうとする者を求めます。

##### 2. 入学後に涵養する能力

現代経済システム専攻博士前期課程の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるごとく、知識・技能、思考力・判断力・表現力と協創力を高度に涵養し、経済学やその関連分野において専門的研究や専門的職業に携わる高度な能力を有する人材として養成します。

#### 〔博士後期課程〕

##### 1. 入学者に求める能力

現代経済システム専攻博士後期課程では、経済社会に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて、博士後期課程での学修に必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力を高度に有し、経済学やその関連分野において高度な研究活動に携わろうとする者、高度な専門的職業に携わろうとする者、自身の実務目的や生涯目的として高度な専門的研究を行おうとする者を求めます。

##### 2. 入学後に涵養する能力

現代経済システム専攻博士後期課程の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるごとく、知識・技能、思考力・判断力・表現力と協創力を究めて高度に涵養し、経済学やその関連分野において専門的研究や専門的職業に携わる最高度の能力を有する人材として養成します。

詳細は本学公式Webサイトをご覧ください。

#### 〔博士前期課程〕

##### 1. 入学者に求める能力

経済情報専攻博士前期課程では、経済社会・情報社会に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて博士前期課程での学修に必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力を有し、経済学又はシステム科学・情報科学の分野において高度な研究活動に携わろうとする者、高度な専門的職業に携わろうとする者、自身の実務目的や生涯目的として高度な専門的研究を行おうとする者を求めます。

##### 2. 入学後に涵養する能力

経済情報専攻博士前期課程の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるごとく、知識・技能、思考力・判断力・表現力と協創力を高度に涵養し、経済学又はシステム科学・情報科学の分野において専門的研究や専門的職業に携わる高度な能力を有する人材として養成します。

#### 〔博士後期課程〕

##### 1. 入学者に求める能力

経済情報専攻博士後期課程では、経済社会・情報社会に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて博士後期課程での学修に必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力を高度に有し、経済学又はシステム科学・情報科学の分野において高度な研究活動に携わろうとする者、高度な専門的職業に携わろうとする者、自身の実務目的や生涯目的として高度な専門的研究を行おうとする者を求めます。

##### 2. 入学後に涵養する能力

経済情報専攻博士後期課程の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるごとく、知識・技能、思考力・判断力・表現力と協創力を極めて高度に涵養し、経済学又はシステム科学・情報科学の分野において専門的研究や専門的職業に携わる高度な能力を有する人材として養成します。

## 経済科学研究科博士前期課程現代経済システム専攻の入学試験制度と評価

現代経済システム専攻博士前期課程は、(1)一般入学試験、(2)資格取得者入学試験、(3)学部生推薦入学試験、(4)大学院生入学試験、(5)外国人留学生入学試験、(6)外国人留学生推薦入学試験、(7)社会人入学試験、(8)シニア特別入学試験を実施して、経済社会に強い関心を持ち、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力と学修意識を有する者を選抜します。

- (1) 一般入学試験では、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力と学修意識を有する者を選抜するために、専門科目、英語または数学、口述試験及び出願書類に基づき総合的に評価します。
- (2) 資格取得者入学試験では、本研究科が指定した検定・能力試験で一定のランクまたはレベルを満たした者（資格取得者と呼ぶ）に対して、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力と学修意識を有する者を選抜するために、当該検定・能力試験の成績・結果、英語または日本語（母語を除く）または数学、口述試験及び出願書類に基づき総合的に評価します。
- (3) 学部生推薦入学試験では、特に学部における学業成績が優秀な者に対して、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力と学修意識を有する者を選抜するために、学部の単位取得状況、口述試験及び出願書類によって総合的に評価します。
- (4) 大学院生入学試験では、日本国内の大学院の修了者あるいは修了予定者に対して、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力と学修意識を有する者を選抜するために、専門科目、口述試験及び出願書類に基づき総合的に評価します。
- (5) 外国人留学生入学試験では、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力、語学能力と学修意識を有する外国人留学生を選抜するために、専門科目、日本語、口述試験及び出願書類に基づき総合的に評価します。
- (6) 外国人留学生推薦入学試験では、修了または修了見込みである大学の学長または学部長の推薦を受けた者に対して、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力と学修意識を有する者を選抜するために、口述試験及び出願書類に基づき総合的に評価します。ただし、指定大学から推薦された者については、出願書類のみにより判定することがあります。
- (7) 社会人入学試験では、大学等を卒業し2年以上の社会人経験を有する者に対して、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力と学修意識を有する者を選抜するために、小論文、口述試験及び出願書類に基づき総合的に評価します。
- (8) シニア特別入学試験では、大学等を卒業した60歳以上の者に対して、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力と学修意識を有する者を選抜するために、小論文、口述試験及び出願書類に基づき総合的に評価します。

## 経済科学研究科博士後期課程現代経済システム専攻の入学試験制度と評価

現代経済システム専攻博士後期課程は、修士号取得者と同等の学力を有する者に対して、(1)一般入学試験、(2)外国人留学生入学試験、(3)社会人入学試験、(4)シニア特別入学試験を実施し、経済社会に強い関心を持ち、修士号取得者と同等の高度な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力を有する者を選抜します。

- (1) 一般入学試験では、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力、語学能力と学修意識を有する者を選抜するために、英語、口述試験及び出願書類に基づき総合的に評価します。
- (2) 外国人留学生入学試験では、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力、語学能力と学修意識を有する外国人留学生を選抜するために、英語、口述試験及び出願書類に基づき総合的に評価します。
- (3) 社会人入学試験では、修士課程等を修了して2年以上または大学等を卒業して4年以上の社会人経験を有する者に対して、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力と学修意識を有する者を選抜するために、口述試験及び出願書類に基づき総合的に評価します。
- (4) シニア特別入学試験では、修士課程等を修了した60歳以上の者に対して、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力と学修意識を有する者を選抜するために、口述試験及び出願書類に基づき総合的に評価します。

## 経済科学研究科博士前期課程経済情報専攻の入学試験制度と評価

経済情報専攻博士前期課程は、(1)一般入学試験、(2)資格取得者入学試験、(3)学部生推薦入学試験、(4)大学院生入学試験、(5)外国人留学生入学試験、(6)外国人留学生推薦入学試験、(7)社会人入学試験、(8)シニア特別入学試験を実施し、経済社会・情報社会に強い関心を持ち、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力を有する者を選抜します。

- (1) 一般入学試験では、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力と学修意識を有する者を選抜するために、専門科目、英語または数学、口述試験および出願書類に基づき総合的に評価します。
- (2) 資格取得者入学試験では、本研究科が指定した検定・能力試験で一定のランクまたはレベルを満たした者（資格取得者と呼ぶ）に対し必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力と学修意識を有する者を選抜するために、当該検定・能力試験の成績・結果、英語または日本語（母語を除く）または数学、口述試験および出願書類に基づき総合的に評価します。
- (3) 学部生推薦入学試験では、特に学部における学業成績が優秀な者に対して、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力と学修意識を有する者を選抜するために、学部の単位取得状況、口述試験および出願書類に基づき総合的に評価します。
- (4) 大学院生入学試験では、日本国内の大学院の修了者あるいは修了予定者に対して、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力と学修意識を有する者を選抜するために、専門科目、口述試験および出願書類に基づき総合的に評価します。
- (5) 外国人留学生入学試験では、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力、語学能力と学修意識を有する外国人留学生を選抜するために、専門科目、日本語、口述試験および出

願書類に基づき総合的に評価します。

- (6) 外国人留学生推薦入学試験では、修了または修了見込みである大学の学長または学部長の推薦を受けた者に対して、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力と学修意識を有する者を選抜するために、口述試験および出願書類に基づき総合的に評価します。ただし、指定大学から推薦された者については、出願書類のみにより判定することがあります。
- (7) 社会人入学試験では、大学等を卒業し2年以上の社会人経験を有する者に対して、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力と学修意識を有する者を選抜するために、小論文試験、口述試験および出願書類に基づき総合的に評価します。
- (8) シニア特別入学試験では、大学等を卒業した60歳以上の者に対して、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力と学修意識を有する者を選抜するために、小論文試験、口述試験および出願書類に基づき総合的に評価します。

### 経済科学研究科博士後期課程経済情報専攻の入学試験制度と評価

経済情報専攻博士後期課程は、(1)一般入学試験、(2)外国人留学生入学試験、(3)社会人入学試験、(4)シニア特別入学試験を実施し、経済社会・情報社会に強い関心を持ち、修士号取得者と同等の高度な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力を有する者を選抜します。

- (1) 一般入学試験では、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力、語学能力と学修意識を有する者を選抜するために、英語、口述試験および出願書類に基づき総合的に評価します。
- (2) 外国人留学生入学試験では、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力、語学能力と学修意識を有する外国人留学生を選抜するために、英語、口述試験および出願書類に基づき総合的に評価します。
- (3) 社会人入学試験では、修士課程等を修了して2年以上または大学等を卒業して4年以上の社会人経験を有する者に対して、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力と学修意識を有する者を選抜するために、口述試験および出願書類に基づき総合的に評価します。
- (4) シニア特別入学試験では、修士課程等を修了した60歳以上の者に対して、必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協創力と学修意識を有する者を選抜するために、口述試験および出願書類に基づき総合的に評価します。

# 経済科学研究科博士前期課程概要

## 1. 目的と構成

広島修道大学大学院経済科学研究科は、実際の現代経済をシステム科学や情報科学の手法を駆使して分析することを系統的に教育研究するとともに、豊かな専門的学識を備えた人材を養成することを目的とする。そして、高度の専門職業人を養成するとともに社会人のキャリアアップ教育の機会も提供したい。

経済科学研究科	現代経済システム専攻	博士前期課程	入学定員	4名
	経済情報専攻	博士前期課程	入学定員	2名

## 2. 各専攻の教育と特色

◆**現代経済システム専攻**は、経済政策、公共経済、金融経済、国際経済など、現在の経済社会における重要問題を視野に捉え、様々な社会科学的学識および各種の情報技術・統計技法等を修得し、新たな経済システムの構築を目指して政策提案的な研究を行う。現代経済システム専攻博士前期課程は、専門科目を次の3分野をもって構成する。

- ①「共通科目」分野…両専攻共通で必要な経済社会および情報社会に関する基礎を研究する。
- ②「政策・公共関係」分野…消費・産業・公共・環境等に注目しつつ、現代の経済問題を政策的見地から研究する。
- ③「金融・国際関係」分野…グローバル化の金融経済や国際経済における諸問題を実践的・実地的に研究する。

◆**経済情報専攻**は、経済分析の重要ツールであるシステム科学と情報科学の最新手法の研究に取り組む。また、これらの手法を、経済さらには経営・社会・環境等の諸システムに適用することを目指していく。経済情報専攻博士前期課程は、専門科目を次の3分野をもって構成する。

- ①「共通科目」分野…両専攻共通で必要な経済社会および情報社会に関する基礎を研究する。
- ②「システム・数理関係」分野…システム科学や数理科学の諸手法の研究および経済・経営等への適用を研究する。
- ③「コンピュータ・情報関係」分野…コンピュータやネットワークなど、情報科学の諸手法の研究および経済・経営等への適用を研究する。

## 3. 履修方法

修士論文提出者は、指導教員の研究指導を経て修士論文を作成し、課題研究論文提出者は、実務経験に基づいて課題研究論文を作成する。また、指導教員と相談し、自身の研究に関係する講義科目を履修する。どのような講義科目を履修するかについては、各専攻に三つの履修モデルがあるので、それを参考にすること。

◆博士前期課程現代経済システム専攻の履修モデル

① 主に数理経済や計量経済等の研究を目指す場合

A群 「ミクロ経済学研究Ⅰ・Ⅱ」、「マクロ経済政策研究Ⅰ・Ⅱ」、「計量経済学研究Ⅰ・Ⅱ」、 「情報社会研究Ⅰ・Ⅱ」、「ゲームと情報の経済学研究Ⅰ・Ⅱ」、「経済成長モデル研究Ⅰ・ Ⅱ」などを重点的に履修
B群から、関連科目を若干履修
C群から、関連科目を若干履修
D群から、関心に応じて「英語プレゼンテーションⅠ・Ⅱ」などを履修
研究指導（E群）または課題研究（F群）

② 主に経済政策や公共部門等の研究を目指す場合

A群 「ミクロ経済学研究Ⅰ・Ⅱ」、「マクロ経済政策研究Ⅰ・Ⅱ」など
B群 「労働経済学研究Ⅰ・Ⅱ」、「産業政策論研究Ⅰ・Ⅱ」、「公共経済論研究Ⅰ・Ⅱ」、「社会 保障論研究Ⅰ・Ⅱ」、「公共財政研究Ⅰ・Ⅱ」、「経済政策研究Ⅰ・Ⅱ」、「環境経済学研究 Ⅰ・Ⅱ」などを重点的に履修
C群から、関連科目を若干履修
D群から、関心に応じて「英語プレゼンテーションⅠ・Ⅱ」などを履修
研究指導（E群）または課題研究（F群）

③ 主に金融経済や国際経済等の研究を目指す場合

A群 「ミクロ経済学研究Ⅰ・Ⅱ」、「マクロ経済政策研究Ⅰ・Ⅱ」など
B群から、関連科目を若干履修
C群 「金融統計・モデル分析研究Ⅰ・Ⅱ」、「金融経済分析研究Ⅰ・Ⅱ」、「国際貿易研究Ⅰ・ Ⅱ」、「西洋商業史研究Ⅰ・Ⅱ」などを重点的に履修
D群から、関心に応じて「英語プレゼンテーションⅠ・Ⅱ」などを履修
研究指導（E群）または課題研究（F群）

#### ◆博士前期課程経済情報専攻の履修モデル

##### ① 主に経済社会や情報社会等の研究を目指す場合

A群 「ミクロ経済学研究Ⅰ・Ⅱ」、「マクロ経済政策研究Ⅰ・Ⅱ」、「計量経済学研究Ⅰ・Ⅱ」、 「情報社会研究Ⅰ・Ⅱ」、「ゲームと情報の経済学研究Ⅰ・Ⅱ」、「経済成長モデル研究Ⅰ・ Ⅱ」などを重点的に履修
B群から、関連科目を若干履修
C群から、関連科目を若干履修
D群から、関心に応じて「英語プレゼンテーションⅠ・Ⅱ」などを履修
研究指導（E群）または課題研究（F群）

##### ② 主に経済社会のためのシステム科学や数理科学の研究を目指す場合

A群 「情報社会研究Ⅰ・Ⅱ」、「ゲームと情報の経済学研究Ⅰ・Ⅱ」など
B群 「信頼性理論研究Ⅰ・Ⅱ」、「数理モデル解析研究Ⅰ・Ⅱ」、「応用数学研究Ⅰ・Ⅱ」、「社 会システムシミュレーション研究Ⅰ・Ⅱ」、「環境情報システム研究Ⅰ・Ⅱ」、「環境ガバ ナンス研究Ⅰ・Ⅱ」、「経営情報論研究Ⅰ・Ⅱ」などを重点的に履修
C群から、関連科目を若干履修
D群から、関心に応じて「英語プレゼンテーションⅠ・Ⅱ」などを履修
研究指導（E群）または課題研究（F群）

##### ③ 主に経済社会のためのコンピュータや情報科学の研究を目指す場合

A群 「情報社会研究Ⅰ・Ⅱ」、「ゲームと情報の経済学研究Ⅰ・Ⅱ」など
B群から、関連科目を若干履修
C群 「情報数学研究Ⅰ・Ⅱ」、「情報処理研究Ⅰ・Ⅱ」、「情報通信研究Ⅰ・Ⅱ」、「ソフトウェ ア応用研究Ⅰ・Ⅱ」、「コンピュータグラフィックス研究Ⅰ・Ⅱ」、「プロジェクトマネジ メント研究Ⅰ・Ⅱ」などを重点的に履修
D群から、関心に応じて「英語プレゼンテーションⅠ・Ⅱ」などを履修
研究指導（E群）または課題研究（F群）

## 4. 修了要件と学位

#### ◆修士論文を提出する場合

「研究指導」を履修し各専攻ごとに定められた授業科目30単位以上を修得し、かつ学位論文の審査及び最終試験に合格すると学位が授与される。

## 研究指導について

社会人入学試験で入学した学生は、夜の時間帯 6・7 限目（18：30～21：35）に開講される研究指導の中から選択する。社会人入学試験で入学した学生以外の学生は、昼の時間帯 1～5 限目（9：00～18：00）に開講される研究指導の中から選択する。

### ◆課題研究を選択する場合（社会人学生のみ対象）

「課題研究」計 4 単位と各専攻ごとに定められた授業科目 30 単位以上、合計 34 単位以上を修得すると学位が授与される。

学位は、2 専攻とも修士（経済学または経済情報）で、種類は研究内容により決まる。

## 5. 学位の授与

### ① 学位授与判定基準

#### 修士論文

修士論文は「修士論文の評価基準」と「最終試験の評価基準（修士論文）」に基づき評価される。

#### 修士論文の評価基準

- (1) 学位申請者が主体的に取り組んだ研究である。
- (2) 研究テーマ、研究内容及び研究方法が適切である。
- (3) 論旨が明確であり、論述に論理性及び一貫性がある。
- (4) 論文の内容が新規性あるいは独創性を有している。
- (5) 先行研究の引用等、論文としての形式が適切である。
- (6) 研究倫理面の配慮が適切かつ十分になされている。

#### 最終試験の評価基準（修士論文）

- (1) 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づいた能力を有していること。
- (2) 修士論文の評価基準に関する質疑に対して論理的かつ明快に応答ができること。

#### 特定課題研究論文

特定課題研究論文は「特定課題研究論文の評価基準」と「最終試験の評価基準（特定課題研究論文）」に基づき評価される。

#### 特定課題研究論文の評価基準

- (1) 学位申請者が主体的に取り組んだ研究である。
- (2) 研究テーマ、研究内容に実務上の問題意識が反映されている。
- (3) 研究方法が経済科学研究科の教育内容に照らして適切である。
- (4) 論旨が明確であり、論述に論理性及び一貫性がある。
- (5) 先行研究の引用等、論文としての形式が適切である。
- (6) 研究倫理面の配慮が適切かつ十分になされている。

#### 最終試験の評価基準（特定課題研究論文）

- (1) 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づいた能力を有していること。
- (2) 特定課題研究論文の評価基準に関する質疑に対して論理的かつ明快に応答ができること。

## 6. 講義科目の履修

社会人入学試験で入学した学生は、昼の時間帯 1～5 限目（9：00～18：00、10単位まで）、夜の時間帯 6・7 限目（18：30～21：35）いずれの時間帯の講義科目も履修することができる。

社会人入学試験で入学した学生以外の学生は、一部の科目を除き昼の時間帯 1～5 限目（9：00～18：00）に開講される講義科目しか履修できない。

## 7. 大学院の教職課程について

本研究科では、下表の「取得免許状一覧」に示すとおり、免許取得のための教職課程を設置しています。

これらの免許を取得するためには、中学校教諭一種免許状または高等学校教諭一種免許状授与の所要資格を有し、かつ、教育職員免許法および教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければなりません。該当の専修免許状を取得しようとする者のうち、未だ該当の一種免許状授与の所要資格を有していない場合は、これを充たす必要があり、所定の単位が不足しているときは、広島修道大学学則第48条に規定する科目等履修生として、当該授業科目を履修しなければなりません（有料）。ただし、本学大学院生が履修する教職科目については、年間10単位を上限に科目等履修料を免除しています（休学期間は除く）。科目等履修を希望する者は、各入学試験の出願前までに教学センター資格課程係（TEL 082-830-1127）へ問い合わせを行ってください。

なお、「教育実習」は、本学部の在学生および卒業生のみが履修できる科目となっていますが、学部出身大学が他大学であっても、本学の大学院に在学している場合は、これに準じて取り扱うことになっています。

### 取得免許状一覧

現代経済システム専攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	社会 公民
経済情報専攻	高等学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	商業 情報

## 8. 長期履修学生制度について

長期履修学生制度とは、職業を有している等の理由で標準修業年限の2年では大学院修士課程の修了が困難な場合に、経済的負担を軽減して3年又は4年で計画的に修学し当該課程を修了することのできる制度で、社会人入学試験およびシニア特別入学試験の入学者が適用対象となります。

この制度の適用を申請し認められた場合、学費は1単位につき現代経済システム専攻は33,000円、経済情報専攻は35,000円の履修料を納付することになり、修業年限が3年又は4年となっても、その学費は標準修業年限の2年分とほぼ同額となります。

\*この制度の適用を申請する者は、出願時に長期履修学生願（本学所定の用紙）を提出してください。

## 授業科目および担当教員（2026年度）

### (1) 現代経済システム専攻

授業科目の名称	職名	担当教員
ミクロ経済学研究Ⅰ ミクロ経済学研究Ⅱ 課題研究、研究指導	准教授	Ph. D. in Economics 鈴木 貴晶
マクロ経済政策研究Ⅰ マクロ経済政策研究Ⅱ 課題研究、研究指導		
計量経済学研究Ⅰ 計量経済学研究Ⅱ 課題研究、研究指導	准教授	博士（経済学） 塗師本 彩
労働経済学研究Ⅰ 労働経済学研究Ⅱ 課題研究、研究指導	教授	博士（経済学） 岡村 和明
産業政策論研究Ⅰ 産業政策論研究Ⅱ 課題研究、研究指導	教授	太田耕史郎
社会保障論研究Ⅰ 社会保障論研究Ⅱ 課題研究、研究指導	教授	博士（経済学） 迫 一光
公共財政研究Ⅰ 公共財政研究Ⅱ 課題研究、研究指導	教授	森岡 一憲
経済政策研究Ⅰ 経済政策研究Ⅱ 課題研究、研究指導	教授	博士（学術） 河合 伸治
環境経済学研究Ⅰ 環境経済学研究Ⅱ 課題研究、研究指導	教授	博士（経済学） 羅 星仁
環境経済評価研究Ⅰ 環境経済評価研究Ⅱ 課題研究、研究指導		
金融統計・モデル分析研究Ⅰ 金融統計・モデル分析研究Ⅱ 課題研究、研究指導		
金融経済分析研究Ⅰ 金融経済分析研究Ⅱ 課題研究、研究指導	教授	博士（経済学） 劉 亜静
国際貿易研究Ⅰ 国際貿易研究Ⅱ	准教授	博士（経済学） 新宅 公志
西洋商業史研究Ⅰ 西洋商業史研究Ⅱ 課題研究、研究指導	准教授	Ph. D. 河野 淳
公共経済論研究Ⅰ 公共経済論研究Ⅱ	准教授	博士（経済学） 田中 藍子

授業科目の名称	職名	担当教員
ファイナンス研究Ⅰ ファイナンス研究Ⅱ 課題研究、研究指導		
英語プレゼンテーションⅡ	准教授	P. E. Jensen

※事情により不開講となる科目があります。

(2) 経済情報専攻

授業科目の名称	職名	担当教員
情報社会研究Ⅰ 情報社会研究Ⅱ 課題研究、研究指導	教授	博士（学術） 阿濱志保里
ゲームと情報の経済学研究Ⅰ ゲームと情報の経済学研究Ⅱ	准教授	博士（経営学） 永岡 成人
経済成長モデル研究Ⅰ 経済成長モデル研究Ⅱ 課題研究、研究指導	教授	博士（経済学） 前田 純一
信頼性理論研究Ⅰ 信頼性理論研究Ⅱ 課題研究、研究指導	准教授	博士（工学） 古山 滋人
数理モデル解析研究Ⅰ 数理モデル解析研究Ⅱ	准教授	博士（理学） 都築 寛
応用数学研究Ⅰ 応用数学研究Ⅱ	教授	博士（理学） 田神 慶士
社会システムシミュレーション研究Ⅰ 社会システムシミュレーション研究Ⅱ 課題研究、研究指導	教授	博士（学術） 井寄 幸平
環境情報システム研究Ⅰ 環境情報システム研究Ⅱ		
環境ガバナンス研究Ⅰ 環境ガバナンス研究Ⅱ 課題研究、研究指導	教授	博士（経済学） 岩田 裕樹
経営情報論研究Ⅰ 経営情報論研究Ⅱ	兼担准教授	博士（経営学） 王 琦
情報数学研究Ⅰ 情報数学研究Ⅱ 課題研究、研究指導	教授	博士（理学） 角谷 敦
情報処理研究Ⅰ 情報処理研究Ⅱ		
ソフトウェア応用研究Ⅰ ソフトウェア応用研究Ⅱ 課題研究、研究指導	教授	博士（経済情報） 脇谷 直子
情報通信研究Ⅰ 情報通信研究Ⅱ 課題研究、研究指導	教授	博士（情報工学） 出木原裕順

授 業 科 目 の 名 称	職 名	担 当 教 員
コンピュータグラフィックス研究Ⅰ コンピュータグラフィックス研究Ⅱ 課題研究、研究指導	教 授	博士（政策・メディア）坂口 琢哉
プロジェクトマネジメント研究Ⅰ プロジェクトマネジメント研究Ⅱ 課題研究、研究指導	教 授	博士（学術） 佐藤 達男
英語プレゼンテーションⅠ	教 授	岡田あずさ
中国語プレゼンテーションⅠ 中国語プレゼンテーションⅡ	准 教 授	博士（文学） 平塚 順良

※事情により不開講となる科目があります。

# 募 集 要 項

## 博士前期課程

経済科学研究科現代経済システム専攻・経済情報専攻博士前期課程の学生を次のとおり募集する。

### 1 試験の種類

一般入学試験	第1次募集・第2次募集を行う。
資格取得者入学試験	
学部生推薦入学試験	
大学院生入学試験	
外国人留学生入学試験	
外国人留学生推薦入学試験	
社会人入学試験	
シニア特別入学試験	

### 2 募集人員

募集人員	現代経済システム専攻	経済情報専攻
	4名	2名
一般入学試験	若干名	若干名
資格取得者入学試験	若干名	若干名
学部生推薦入学試験	若干名	若干名
大学院生入学試験	若干名	若干名
外国人留学生入学試験	若干名	若干名
外国人留学生推薦入学試験	若干名	若干名
社会人入学試験	若干名	若干名
シニア特別入学試験	若干名	若干名

### 3 出願期間

第1次募集 2026年8月18日（火）～2026年8月25日（火）（締切日当日必着）  
第2次募集 2027年1月25日（月）～2027年2月4日（木）（締切日当日必着）

### 4 試験日

第1次募集 2026年9月5日（土）  
第2次募集 2027年2月13日（土）

### 5 試験場

本学

### 6 合格者発表

第1次募集 2026年9月11日（金）  
第2次募集 2027年2月22日（月）

## 7 入学手続（外国人留学生推薦入学試験は除く）

### 第1次募集

（1次手続） 2026年9月14日（月）～2026年9月30日（水）（期間厳守）

（2次手続） 2027年2月22日（月）～2027年3月3日（水）（期間厳守）

### 第2次募集

（一括手続） 2027年2月22日（月）～2027年3月3日（水）（期間厳守）

\*期間内に入学手続きを完了しない場合は、いかなる理由があろうとも入学を許可しません。

\*入学手続き（前期分諸納付金納入）を行った後に、入学を辞退する者については、入学金を除く前期分諸納付金を返還します。返還を希望する者は、入学手続要項に同封の「入学辞退届」を2027年3月31日（水）（**必着**）までに、入学センターに提出してください。

\*外国人留学生推薦入学試験の入学手続については30ページを参照してください。

## 8 出願先

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1

広島修道大学 入学センター（TEL 082-830-1100）

〈注意〉願書は、速達簡易書留で郵送してください。

## 9 諸納付金

	現代経済システム専攻	経済情報専攻
入 学 金	220,000円	220,000円
在 学 料	490,000円	520,000円
初 年 度 合 計	710,000円	740,000円
単 位 制 履 修 料 (長期履修学生のみ)	33,000円／1単位	35,000円／1単位

\*広島修道大学から入学する者の入学金は半額とする。

\*入学金は入学年度のみ納入する。

\*広島修道大学大学院博士前期課程（修士課程）から他研究科または他専攻の博士前期課程（修士課程）へ引き続き入学する者の入学金は免除とする。

## 10 奨学金制度

本学で取り扱っている奨学金は下表のとおりです。

種 別	貸 与 月 額
日本学生 支援機構	第一種奨学金(※) (無利子) 50,000円または88,000円のいずれか希望する額
	第二種奨学金 (有利子) 5万円・8万円・10万円・13万円・15万円のうち希望により選択

※日本学生支援機構では、大学院において第一種奨学金の貸与を受けた学生であって、在学中に特に優れた業績を挙げた者として日本学生支援機構が認定した場合には、貸与期間終了時に第一種奨学金の全部または一部の返還が免除される「特に優れた業績による返還免除」という制度があります。詳細は、学生センター（082-830-1117）へ問い合わせてください。

## 大学院段階（修士課程・博士前期課程）における「授業料後払い制度」について

「授業料後払い制度」とは、在学中は授業料（本学でいう在学料）を納付せず、修了後の所得に応じて後払いするという貸与奨学金の制度です。授業料は、日本学生支援機構から大学に直接振り込まれ、対象者の授業料に充当されます。併せて生活奨学金として月額2万円または4万円の貸与を受けることができます。詳細は学生センター（082-830-1117）へ問い合わせてください。

## 11 外国人留学生諸納付金減免制度

広島修道大学では、外国人留学生を経済的に支援するための諸納付金減免制度を設けています。諸納付金減免を希望する人は、必要書類を出願書類とあわせて提出してください。

### 1. 申請資格

出入国管理および難民認定法別表第1に定める「留学」の在留資格を保有、または取得見込みの外国人留学生であって、経済的に修学が困難と認められるものであり、次の(1)から(3)をすべて満たす者

「留学」の在留資格を取得見込みの場合は、事前に国際センターへ問い合わせてください。

- (1) 母国から入学金・授業料等以外の仕送りがある場合、その平均月額が90,000円以下であること
- (2) 日本に居住する扶養者がある場合、その年収が500万円未満であること
- (3) 入学試験の成績が優秀であること

### 2. 提出書類

次の(1)および(2)すべての書類を出願書類とあわせて提出すること

- (1) 諸納付金減免申請書（本学所定用紙）
- (2) 在留資格を示す書類の写し（在留カード、もしくはパスポートの該当ページ）

※在留カードは両面コピーすること

### 3. 選考方法

入学試験成績および申請書一式により選考する。

### 4. 減免範囲および採用人数

減免範囲	採用人数
在学料の全額	入学試験の得点率上位21位以内の者
在学料の半額	入学試験の得点率上位22位から26位までの者

※大学院博士後期課程を優先し、残余数を大学院修士課程または博士前期課程に充てる

### 5. 減免対象期間

入学時から1年間（2年次以降は再度申請が必要）

※9月入学の場合は2027年9月から1年間

### 6. 決定通知

諸納付金減免の採否決定通知は、第2次募集の合格発表日に速達で郵送します。

諸納付金減免に関する問い合わせ先  
国際センター（082-830-1103）

## 12 その他

- (1) 障がいなどのある志願者で、受験上の配慮について要望がある場合、および入学後の就学について特別の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、第1次募集においては2026年7月24日（金）、第2次募集においては2027年1月8日（金）までに入学センターにお問い合わせください。
- (2) **願書は、速達簡易書留で郵送してください。（締切日当日必着）**
- (3) 志願票および出願書類の記載事項は、入学試験に係る事務処理に使用し、それ以外の目的に使用することはありません。
- (4) 教育ローン  
公的な融資機関として日本政策金融公庫があります。相談については教育ローンコールセンター（TEL 0570-008656）へお問い合わせください。

# I. 一般入学試験

## 1 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者（見込みを含む）
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者（見込みを含む）
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者（見込みを含む）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（見込みを含む）
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（見込みを含む）
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（見込みを含む）
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 大学に3年以上在学した者であって、本研究科が定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの（見込みを含む）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに22歳に達したもの

注1) 出願に先立ち入学センターに問い合わせたうえで、第1次募集は2026年7月24日（金）まで、第2次募集は2027年1月8日（金）までに、研究指導を受けようとする教員と連絡を取り、研究分野等について事前に相談すること。

注2) 出願資格(8)、(9)または(10)にもとづき出願する者は、出願に先立ち第1次募集においては2026年6月16日（火）、第2次募集においては2026年11月20日（金）までに入学センターに問い合わせたうえで、入学資格認定申請書（所定の用紙）を提出すること。

注3) 上記の出願資格のうち「見込み」による志願者については、入学試験合格後、2027年3月31日までに入学資格を満たすことができないことが確定した場合、入学を取り消すこととする。

## 2 出願書類

- (1) 入学志願票（本学所定の用紙）
- (2) 成績証明書（原本に限る）
- (3) 卒業または卒業見込証明書（原本に限る）
- (4) 研究計画書（研究上の目標および計画について本学所定の用紙に1,500字程度で記入すること。文書作成ソフトも可。）
- (5) 英語試験の免除を受ける者については、免除の資格要件にかかる証明書の写し
- (6) 外国人留学生の場合には、「履歴書」および「留学にかかる収入予定書」（本学所定の用紙）  
\*外国人留学生諸納付金減免制度については、17ページを参照すること。
- (7) 検定料 30,000円（郵便為替（普通為替）とし、普通為替証書には何も記入しないこと。）

\*出願書類（本学所定の用紙）は日本語または英語によって記入すること。また、出願書類(2)、(3)、(4)は原則として和文または英文のものとし、それ以外の場合は、日本語または英語によって訳文を添付すること。

### 3 試験科目

#### (1) 専門科目

##### 現代経済システム専攻

次の科目の中から1科目を選択すること。

この場合、研究計画書に記載した自己の研究テーマにもっとも関連のある科目を選択することが望ましい。なお、この科目の選択は出願時に行うものとする。

ミクロ経済学、マクロ経済学、労働経済学、環境経済学、経済成長論、産業経済学、計量経済学、経済政策、国際経済学、財政学、金融論、社会保障論、西洋商業史

※出題分野は35ページ参照

##### 経済情報専攻

次の科目の中から1科目を選択すること。

この場合、研究計画書に記載した自己の研究テーマにもっとも関連のある科目を選択することが望ましい。なお、この科目の選択は出願時に行うものとする。

ミクロ経済学、マクロ経済学、経済成長論、産業経済学、計量経済学、システム科学、情報数学、情報通信論、情報社会論、ソフトウェア、シミュレーション論、プロジェクトマネジメント、環境ガバナンス、コンピュータグラフィックス

※出題分野は36ページ参照

#### (2) 英語または数学……英語、数学（線型代数および微分積分）のうちから1科目を出願時に選択。

〈英語試験については、語学辞書（電子式は除く）2冊まで持込み可。ただし、専門用語辞典およびそれに類するものの持込みは不可。〉

\*ただし、2025年度または2026年度にTOEIC L&R 730点以上、TOEFL iBT 70点以上を取得した者は、英語試験を免除（満点）する。

#### (3) 口述……試験科目および研究計画書をもとにして、学業成績、研究意欲等について行う。（10分～15分程度）

### 4 試験時間割

(1) 専門科目 9：30～11：00（90分）

(2) 英語または数学 11：20～12：30（70分）

(3) 口述 13：30～

### 5 配点

専門科目 100点 英語または数学 100点 口述 100点 合計 300点

### 6 選抜方法

専門科目、英語または数学、口述試験および出願書類にもとづき総合的に判定する。

## II. 資格取得者入学試験

### 1 出願資格

日本国内の大学の4年次生または卒業生で、以下の出願資格Ⅰ・Ⅱのいずれかに適合する者。

#### 出願資格Ⅰ

日本経済学教育協会の行うERE（経済学検定試験）の「ERE」、「EREマイクロ・マクロ」のいずれかで、偏差値によるランク判定がB+以上の者。（受験の年度は問わない）

（以下において、ランクの高い方から順に示す）

ランク	偏差値
S	73以上
A+	66～73未満
A	60～66未満
B+	55～60未満

#### 出願資格Ⅱ

情報処理推進機構 情報処理技術者試験センターの行う情報処理技術者試験・情報処理安全確保支援士試験のレベル2（基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験）以上の合格者。（受験の年度は問わない）

（以下において、ランクの高い方から順に示す）

レベル	試験の種類
4	ITストラテジスト試験、システムアーキテクト試験、プロジェクトマネージャ試験、ネットワークスペシャリスト試験、データベーススペシャリスト試験、エンベデッドシステムスペシャリスト試験、情報処理安全確保支援士試験（あるいは情報セキュリティスペシャリスト試験）、ITサービスマネージャ試験、システム監査技術者試験
3	応用情報技術者試験
2	基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験

注1）出願に先立ち入学センターに問い合わせたうえで、第1次募集は2026年7月24日（金）まで、第2次募集は2027年1月8日（金）までに、研究指導を受けようとする教員と連絡を取り、研究分野等について事前に相談すること。

注2）出願資格について疑義がある場合は、出願に先立ち、第1次募集においては2026年7月24日（金）、第2次募集においては2027年1月8日（金）までに入学センターに問い合わせること。

注3）上記の出願に関して、入学試験合格後、2027年3月31日までに入学資格を満たすことができないことが確定した場合、入学を取り消すこととする。

### 2 出願書類

- (1) 入学志願票（本学所定の用紙）
- (2) 成績証明書（原本に限る）
- (3) 卒業または卒業見込証明書（原本に限る）
- (4) 研究計画書（研究上の目標および計画について本学所定の用紙に1,500字程度で記入すること。文書作成ソフトも可。）
- (5) 出願資格要件にかかる証明書の写しまたはそれを証明する書類
- (6) 英語試験の免除を受ける者については、TOEICまたはTOEFLの成績を証明する書類を提出すること。

- (7) 外国人留学生の場合には、「履歴書」および「留学にかかる収入予定書」（本学所定の用紙）  
 ＊外国人留学生諸納付金減免制度については、17ページを参照すること。
- (8) 検定料 30,000円（郵便為替（普通為替）とし、普通為替証書には何も記入しないこと。）

### 3 試験科目

- (1) 英語または日本語または数学……英語、日本語（母語を除く）、数学（線型代数および微分積分）のうちから1科目を出願時に選択。  
 〈英語または日本語試験については、語学辞書（電子式は除く）2冊まで持込み可。ただし、専門用語辞典およびそれに類するもの持込みは不可。〉  
 ＊ただし、2024年度、2025年度または2026年度にTOEIC L&R 730点以上またはTOEFL iBT 70点以上を取得した者は、英語の試験を免除（満点）する。
- (2) 口 述……検定・能力試験の成績・結果、英語または日本語または数学、および研究計画書等をもとにして行う。（10分～15分程度）

### 4 試験時間割

- (1) 英語または日本語または数学 11：20～12：30（70分）  
 (2) 口 述 13：30～

### 5 配 点

検定・能力試験の成績・結果 100点  
 以下の基準点にもとづき、それぞれ得点したものと判定する。

出願資格Ⅰ

EREランク	基準点
S	100点
A+	90点
A	80点
B+	70点

出願資格Ⅱ

情報処理技術者試験、情報処理安全確保支援士試験レベル	基準点
4	100点
3	85点
2	70点

出願資格Ⅰ・Ⅱ

ERE（経済学検定試験）の偏差値によるランク判定がB+以上であり、情報処理技術者試験、情報処理安全確保支援士試験のレベル2以上の合格者	基準点 100点
---	----------

英語または日本語または数学 100点 口 述 100点  
 合計 300点

### 6 選抜方法

検定・能力試験の成績・結果、英語または日本語または数学、口述試験および出願書類にもとづき総合的に判定する。

### Ⅲ. 学部生推薦入学試験

#### 1 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 日本国内の大学の、経済学、経営学、商学、情報系、環境系の学部、学科に在学し、3年次終了時に卒業所要単位数のうち110単位以上を修得していて、そのうち、A（優）評価以上が44単位以上ある者。（3年次在学の場合は見込みも可）
- (2) 日本国内の大学の、上記以外の学部、学科に在学し、3年次終了時に卒業所要単位数のうち110単位以上修得していて、そのうち、A（優）評価以上が44単位以上あり、そして、それらの修得単位のうち、経済学、経営学、商学、情報系、環境系の授業科目の単位を40単位以上修得していて、なおかつ、それらの単位の16単位以上がA（優）評価以上である者。（3年次在学の場合は見込みも可）

注1）出願に先立ち入学センターに問い合わせたうえで、第1次募集は2026年7月24日（金）まで、第2次募集は2027年1月8日（金）までに、研究指導を受けようとする教員と連絡を取り、研究分野等について事前に相談すること。

注2）出願資格について、疑義がある場合は、出願に先立ち、第1次募集の場合2026年7月24日（金）、第2次募集の場合2027年1月8日（金）までに入学センターに問い合わせること。特に、出願資格(2)にもとづいて出願する者は、必ず、入学センターに上記期日までに問い合わせること。

注3）上記の出願資格に関して、入学試験合格後、2027年3月31日までに入学資格を満たすことができないことが確定した場合、入学を取り消すこととする。

#### 2 出願書類

- (1) 入学志願票（本学所定の用紙）
- (2) 成績証明書（原本に限る）
- (3) 卒業見込証明書（原本に限る）
- (4) 推薦書（所属大学の指導教員が作成したもの。あるいは、自己推薦でも可。）
- (5) 研究計画書（研究上の目標および計画について本学所定の用紙に2,000字程度で記入すること。文書作成ソフトも可。）
- (6) 外国人留学生の場合には、「履歴書」および「留学にかかる収入予定書」（本学所定の用紙）  
\*外国人留学生諸納付金減免制度については、17ページを参照すること。
- (7) 検定料 30,000円（郵便為替（普通為替）とし、普通為替証書には何も記入しないこと。）

#### 3 試験科目

口 述……提出された研究計画書をもとにして、学業成績、研究意欲等について行う。  
（15分～20分程度）

#### 4 試験時間割

口 述 13：30～

**5 配 点**

口 述 300点 学部の学業成績 300点 合計 600点

**6 選抜方法**

口述試験、学部の学業成績および出願書類にもとづき、総合的に判定する。

## IV. 大学院生入学試験

### 1 出願資格

日本国内の大学の大学院研究科博士前期課程または修士課程2年次生以上の者もしくは修了した者（見込みを含む）

注1）出願に先立ち入学センターに問い合わせたうえで、第1次募集は2026年7月24日（金）まで、第2次募集は2027年1月8日（金）までに、研究指導を受けようとする教員と連絡を取り、研究分野等について事前に相談すること。

注2）上記の出願資格のうち「見込み」による志願者については、入学試験合格後、2027年3月31日までに入学資格を満たすことができないことが確定した場合、入学を取り消すこととする。

### 2 出願書類

- (1) 入学志願票（本学所定の用紙）
- (2) 成績証明書（出身大学および大学院、原本に限る）
- (3) 在学証明書（在学年次が記入されたもの）または修了証明書（原本に限る）
- (4) 研究計画書（研究上の目標および計画について本学所定の用紙に1,500字程度で記入すること。文書作成ソフトも可。）
- (5) 外国人留学生の場合には、「履歴書」および「留学にかかる収入予定書」（本学所定の用紙）  
\*外国人留学生諸納付金減免制度については、17ページを参照すること。
- (6) 検定料 30,000円（郵便為替（普通為替）とし、普通為替証書には何も記入しないこと。）

### 3 試験科目

#### (1) 専門科目

##### 現代経済システム専攻

次の科目の中から1科目を選択すること。

この場合、研究計画書に記載した自己の研究テーマにもっとも関連のある科目を選択することが望ましい。なお、この科目の選択は出願時に行うものとする。

ミクロ経済学、マクロ経済学、環境経済学、経済成長論、産業経済学、計量経済学、経済政策、国際経済学、財政学、金融論、社会保障論、労働経済学、西洋商業史

※出題分野は35ページ参照

##### 経済情報専攻

次の科目の中から1科目を選択すること。

この場合、研究計画書に記載した自己の研究テーマにもっとも関連のある科目を選択することが望ましい。なお、この科目の選択は出願時に行うものとする。

ミクロ経済学、マクロ経済学、経済成長論、産業経済学、計量経済学、システム科学、情報数学、情報通信論、情報社会論、ソフトウェア、シミュレーション論、プロジェクトマネジメント、環境ガバナンス、コンピュータグラフィックス

※出題分野は36ページ参照

- (2) 口 述……試験科目および研究計画書をもとにして、学業成績、研究意欲等について行う。(10分～15分程度)

#### 4 試験時間割

- (1) 専門科目 9：30～11：00 (90分)  
(2) 口 述 13：30～

#### 5 配 点

専門科目 100点 口 述 100点 合計 200点

#### 6 選抜方法

専門科目、口述試験および出願書類にもとづき総合的に判定する。

## V. 外国人留学生入学試験

### 1 出願資格

外国人留学生で、次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者（見込みを含む）
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者（見込みを含む）
- (3) 大学に3年以上在学した者であって、本研究科が定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの（見込みを含む）
- (4) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに22歳に達したもの

注1) 出願に先立ち入学センターに問い合わせたうえで、第1次募集は2026年7月24日（金）まで、第2次募集は2027年1月8日（金）までに、研究指導を受けようとする教員と連絡を取り、研究分野等について事前に相談すること。

注2) 出願資格(3)、(4)にもとづき出願する者は、出願に先立ち、第1次募集においては2026年6月16日（火）、第2次募集においては2026年11月20日（金）までに入学センターに問い合わせたうえで、入学資格認定申請書（所定の用紙）を提出すること。

注3) 上記の出願資格のうち「見込み」による志願者については、入学試験合格後、2027年3月31日までに入学資格を満たすことができないことが確定した場合、入学を取り消すこととする。

### 2 出願書類

- (1) 入学志願票（本学所定の用紙）
- (2) 成績証明書（原本に限る）
- (3) 卒業または卒業見込証明書（原本に限る）
- (4) 研究計画書（研究上の目標および計画について本学所定の用紙に1,500字程度で記入すること。文書作成ソフトも可。）
- (5) 日本語試験の免除を受ける者については、日本留学試験（日本語）の成績通知書の写しまたは成績確認書
- (6) 履歴書（本学所定の用紙）
- (7) 留学にかかる収入予定書（本学所定の用紙）
- (8) 検定料 30,000円（郵便為替（普通為替）とし、普通為替証書には何も記入しないこと。）

※出願書類（本学所定の用紙）は日本語または英語によって記入すること。また出願書類(2)、(3)、(4)は原則として和文または英文のものとし、それ以外の場合は、日本語または英語によって訳文を添付すること。

\*外国人留学生諸納付金減免制度については、17ページを参照すること。

### 3 試験科目

#### (1) 専門科目

##### 現代経済システム専攻

次の科目の中から1科目を選択すること。

この場合、研究計画書に記載した自己の研究テーマにもっとも関連のある科目を選択することが望ましい。なお、この科目の選択は出願時に行うものとする。

ミクロ経済学、マクロ経済学、環境経済学、経済成長論、産業経済学、計量経済学、経済政策、国際経済学、財政学、金融論、社会保障論、労働経済学、西洋商業史

※出題分野は35ページ参照

##### 経済情報専攻

次の科目の中から1科目を選択すること。

この場合、研究計画書に記載した自己の研究テーマにもっとも関連のある科目を選択することが望ましい。なお、この科目の選択は出願時に行うものとする。

ミクロ経済学、マクロ経済学、経済成長論、産業経済学、計量経済学、システム科学、情報数学、情報通信論、情報社会論、ソフトウェア、シミュレーション論、プロジェクトマネジメント、環境ガバナンス、コンピュータグラフィックス

※出題分野は36ページ参照

#### (2) 日本語〈語学辞書（電子式は除く）2冊まで持込み可。ただし、専門用語辞典およびそれに類するものの持込みは不可。〉

\*ただし、2025年度または2026年度実施の日本学生支援機構が行う日本留学試験の「日本語」を受験した者は、日本語試験を免除し、日本留学試験の「日本語」（読解、聴解・聴読解）400点の配点を100点として換算し、得点に代替することができる。

#### (3) 口述……試験科目および研究計画書をもとにして、学業成績、研究意欲等について日本語で行う。（10分～15分程度）

### 4 試験時間割

(1) 専門科目 9：30～11：00（90分）

(2) 日本語 11：20～12：30（70分）

(3) 口述 13：30～

### 5 配点

専門科目 100点 日本語 100点 口述 100点 合計 300点

### 6 選抜方法

専門科目、日本語、口述試験および出願書類にもとづき総合的に判定する。

## VI. 外国人留学生推薦入学試験

### 1 出願資格

外国人留学生で、次のA) またはB) に該当する者

A) 指定大学から推薦された者で、次の出願資格Ⅰ、Ⅱの両方に該当する者

B) 出願資格Ⅰ、Ⅱ、Ⅲのすべてに該当する者

#### 出願資格Ⅰ

次のいずれかに該当する者

- (1) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者（見込みを含む）
- (2) 大学に3年以上在学した者であって、本研究科において個別の入学資格審査により、大学における所定の単位を優秀な成績で修得したと認められた者

#### 出願資格Ⅱ

次のいずれかに該当する者

- (1) 学業成績が優秀であり、かつ、十分な日本語または英語の能力を有する者であって、修了または修了見込みである大学の学長または学部長の推薦を受けた者
- (2) 大学、政府、研究機関等に勤務する者で、かつ、十分な日本語または英語の能力を有する者であって、所属機関長の推薦を受けた者

#### 出願資格Ⅲ

次のいずれかに該当する者

- (1) 「日本語能力試験」1級合格、または、2010年より実施されている新しい「日本語能力試験」N1合格、または「日本留学試験」（日本語）の得点が270点以上ある者
- (2) 2025年度あるいは2026年度に、TOEIC L&R 730点以上、または、TOEFL iBT 70点以上を取得した者

注1) 出願に先立ち入学センターに問い合わせたうえで、第1次募集は2026年7月24日（金）まで、第2次募集は2027年1月8日（金）までに、研究指導を受けようとする教員と連絡を取り、研究分野等について事前に相談すること。

注2) 出願資格Ⅰ(2)にもとづき出願する者は、出願に先立ち第1次募集においては2026年6月16日（火）、第2次募集においては2026年11月20日（金）までに入学センターに問い合わせたうえで、入学資格認定申請書（所定の用紙）を提出すること。

注3) 上記の出願資格のうち「見込み」による志願者については、入学試験合格後、2027年3月31日までに入学資格を満たすことができないことが確定した場合、入学を取り消すこととする。

### 2 出願書類

- (1) 入学志願票（本学所定の用紙）
- (2) 成績証明書（原本に限る）
- (3) 卒業または卒業見込証明書（原本に限る）
- (4) 研究計画書（2,000字程度で、文書作成ソフトも可。）
- (5) 履歴書（本学所定の用紙）
- (6) 留学にかかる収入予定書（本学所定の用紙）
- (7) 推薦書

(8) 語学能力証明書（「日本語能力試験」、「日本留学試験」、TOEIC、TOEFLのいずれかの結果）の写し

\*ただし、指定大学から推薦された者については不要。

(9) 検定料 30,000円（郵便為替（普通為替）とし、普通為替証書には何も記入しないこと。）

\*出願書類（本学所定の用紙）は日本語または英語によって記入すること。また、出願書類(2)、(3)、(4)は原則として和文または英文のものとし、それ以外の場合は、日本語または英語によって訳文を添付すること。

\*外国人留学生諸納付金減免制度については、17ページを参照すること。

### 3 試験科目

口 述……提出された研究計画書をもとにして、学力、研究意欲、その他について行う。

\*ただし、指定大学から推薦された者については免除することがある。

### 4 試験時間割

口 述 13：30～

### 5 配 点

口 述 100点

### 6 選抜方法

口述試験および研究計画書その他の出願書類にもとづき総合的に判定する。ただし、指定大学から推薦された者については、研究計画書その他の出願書類により判定することがある。

### 7 入学時期

2027年4月または9月

### 8 入学手続

第1次募集

(1次手続) 2026年9月14日(月)～2026年9月30日(水)(期間厳守)

(2次手続) 2027年2月22日(月)～2027年3月3日(水)(期間厳守)

第2次募集

(一括手続) 2027年2月22日(月)～2027年3月3日(水)(期間厳守)

\*ただし、9月(後期・秋学期)入学の場合、後期分諸納付金の納入期限は8月末日となります。8月中旬に関係書類を郵送します。

\*期間内に入学手続きを完了しない場合は、いかなる理由があろうとも入学を許可しません。

\*入学手続き(前期分諸納付金納入)を行った後に、入学を辞退する者については、入学金を除く前期分諸納付金を返還します。返還を希望する者は、「入学辞退届」を、2027年3月31日(水)(**必着**)までに入学センターに提出してください。

## Ⅶ. 社会人入学試験（長期履修学生制度適用）

### 1 出願資格

次のいずれかに該当し、4年制の大学またはそれに準ずる機関を卒業後2年以上経た社会人

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で2027年3月31日までに22歳に達したもの

注1) 出願に先立ち入学センターに問い合わせたうえで、第1次募集は2026年7月24日（金）まで、第2次募集は2027年1月8日（金）までに、研究指導を受けようとする教員と連絡を取り、研究分野等について事前に相談すること。

注2) 出願資格(5)にもとづき出願する者は、出願に先立ち第1次募集においては2026年6月16日（火）、第2次募集においては2026年11月20日（金）までに入学センターに問い合わせたうえで、入学資格認定申請書（所定の用紙）を提出すること。

### 2 出願書類

- (1) 入学志願票（本学所定の用紙）
- (2) 成績証明書（原本に限る）
- (3) 卒業証明書（原本に限る）
- (4) 研究計画書（研究上の目標および計画について本学所定の用紙に1,500字程度で記入すること。文書作成ソフトも可。）
- (5) 検定料 30,000円（郵便為替（普通為替）とし、普通為替証書には何も記入しないこと。）  
\*長期履修学生制度の適用を申請する者は、長期履修学生願（本学所定の用紙）を提出してください。

### 3 試験科目

- (1) 小論文……研究論文を作成する能力をみる。
- (2) 口述……提出された研究計画書をもとにして、学業成績、研究意欲等について行う。  
(20分程度)

### 4 試験時間割

- (1) 小論文 11:00～12:30 (90分)
- (2) 口述 13:30～

### 5 配点

小論文 100点 口述 100点 合計200点

### 6 選抜方法

小論文、口述試験および出願書類にもとづき総合的に判定する。

## ◆ 長期履修学生制度について

### 1. 長期履修学生制度とは？

長期履修学生制度とは、職業を有している等の理由で経済的負担を軽減して3年または4年で計画的に修学し当該課程を修了することのできる制度で、社会人入学試験およびシニア特別入学試験の入学者が適用対象となります。

長期履修学生の詳細につきましては、出願の前に必ず本学教学センターまで問い合わせてください。

問合せ先 広島修道大学教学センター 教務第1課（経済科学研究科） 082-830-1304
---

### 2. 修業年限

大学院における長期履修学生の修業年限は3年または4年で、申請時にどちらかを希望することになります。申請が認められたら2年で修了することはできませんのでご注意ください。

### 3. 授業料

長期履修学生は1単位につき現代経済システム専攻は33,000円、経済情報専攻は35,000円の履修料を納付することになります。修業年限が3年または4年でも、授業料は標準修業年限の2年分とほぼ同額となります。

### 4. 長期履修学生を希望する場合

長期履修学生を希望する場合、社会人入学試験およびシニア特別入学試験を出願される際に、出願書類に添えて「長期履修学生願」（本学所定の用紙）に記入・押印のうえ提出してください。

### 5. 長期履修学生の決定

長期履修学生として入学を許可された方には、合格通知書とともに「長期履修学生許可書」を速達で郵送します。

## Ⅷ. シニア特別入学試験（長期履修学生制度適用）

### 1 出願資格

次のいずれかに該当し、入学時に60歳以上の者

- (1) 大学を卒業した者（見込みを含む）
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者（見込みを含む）
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者（見込みを含む）
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの

注1) 出願に先立ち入学センターに問い合わせたうえで、第1次募集は2026年7月24日（金）まで、第2次募集は2027年1月8日（金）までに、研究指導を受けようとする教員と連絡を取り、研究分野等について事前に相談すること。

注2) 出願資格(5)にもとづき出願する者は、出願に先立ち第1次募集においては2026年6月16日（火）、第2次募集においては2026年11月20日（金）までに入学センターに問い合わせたうえで、入学資格認定申請書（所定の用紙）を提出すること。

注3) 上記の出願資格のうち「見込み」による志願者については、入学試験合格後、2027年3月31日までに入学資格を満たすことができないことが確定した場合、入学を取り消すこととする。

### 2 出願書類

- (1) 入学志願票（本学所定の用紙）
- (2) 成績証明書（原本に限る）
- (3) 卒業証明書（原本に限る）
- (4) 研究計画書（研究上の目標および計画について本学所定の用紙に1,500字程度で記入すること。文書作成ソフトも可。）
- (5) 検定料 30,000円（郵便為替（普通為替）とし、普通為替証書には何も記入しないこと。）  
\*長期履修学生制度の適用を申請する者は、長期履修学生願（本学所定の用紙）を提出してください。

### 3 試験科目

- (1) 小論文……研究論文を作成する能力をみる。
- (2) 口述……提出された研究計画書をもとにして、学業成績、研究意欲等について行う。  
(20分程度)

### 4 試験時間割

小論文 11:00～12:30 (90分) 口述 13:30～

### 5 配点

小論文 100点 口述 100点 合計 200点

### 6 選抜方法

小論文、口述試験および出願書類にもとづき総合的に判定する。

## ◆ 長期履修学生制度について

### 1. 長期履修学生制度とは？

長期履修学生制度とは、職業を有している等の理由で経済的負担を軽減して3年または4年で計画的に修学し当該課程を修了することのできる制度で、社会人入学試験およびシニア特別入学試験の入学者が適用対象となります。

長期履修学生の詳細につきましては、出願の前に必ず本学教学センターまで問い合わせてください。

問合せ先 広島修道大学教学センター 教務第1課（経済科学研究科） 082-830-1304
---

### 2. 修業年限

大学院における長期履修学生の修業年限は3年または4年で、申請時にどちらかを希望することになります。申請が認められたら2年で修了することはできませんのでご注意ください。

### 3. 授業料

長期履修学生は1単位につき現代経済システム専攻は33,000円、経済情報専攻は35,000円の履修料を納付することになります。修業年限が3年または4年でも、授業料は標準修業年限の2年分とほぼ同額となります。

### 4. 長期履修学生を希望する場合

長期履修学生を希望する場合、社会人入学試験およびシニア特別入学試験を出願される際に、出願書類に添えて「長期履修学生願」（本学所定の用紙）に記入・押印のうえ提出してください。

### 5. 長期履修学生の決定

長期履修学生として入学を許可された方には、合格通知書とともに「長期履修学生許可書」を速達で郵送します。

**経済科学研究科 博士前期課程  
入学試験 専門科目出題分野一覧**

**【現代経済システム専攻】**

科 目 名	出 題 分 野
ミクロ経済学	消費者行動の理論、企業行動の理論、市場均衡の理論、市場機構の諸問題、その他
マクロ経済学	国民所得の決定、IS-LM分析、総需要・総供給分析、景気循環、財政・金融政策、投資、その他
労働経済学	労働供給（労働力参加、労働時間の決定）、労働需要、労働市場（買手独占の労働市場、税・補助金と帰着）、失業、賃金格差（教育と労働市場、労働市場における男女差）、企業内労働市場、その他
環境経済学	厚生経済学の基本定理、外部不経済と市場の失敗、環境政策（環境税、直接規制、排出権取引制度など）、その他
経済成長論	ハロッド=ドーマーの成長理論、新古典派成長理論、経済成長と経済政策、内生的成長理論、その他
産業経済学	市場構造と利潤率、参入阻止理論、水平的・垂直的統合、垂直的取引制限、スピニアウト（オフ）・スピニン、ベンチャー・キャピタル、リサーチパーク、その他
計量経済学	単純回帰モデル、重回帰モデル、系列相関、単位根と共和分、連立方程式モデル、その他
経済政策	経済体制の主要類型比較、パレート最適、社会厚生関数の問題、市場の失敗と政府の役割、経済政策とティンバーゲン定理、その他
国際経済学	比較生産費と国際分業、交易条件論、為替相場決定論、国際収支論、国際投資論、その他（現代国際経済諸問題）
財政学	市場の失敗、公共支出の理論と実際、税制と経済効果、財政政策の有効性、地方財政、その他
金融論	貨幣の機能と金融、企業と家計の金融取引、銀行の機能と金融システム、金融市場と金利体系、新しい金融取引（デリバティブ等）、その他（金融に関するトピックス）
社会保障論	賦課方式・積立方式、社会保障財政の持続可能性、社会保険（医療・年金・介護・雇用・労災）、社会福祉（生活保護、児童手当など）、公的扶助、その他
西洋商業史	古代地中海の商業、中世都市の発達、工業化と商業、二度の大戦と商業、冷戦下の商業、その他

【経済情報専攻】

科目名	出題分野
ミクロ経済学	消費者行動の理論、企業行動の理論、市場均衡の理論、市場機構の諸問題、その他
マクロ経済学	国民所得の決定、IS-LM分析、総需要・総供給分析、景気循環、財政・金融政策、投資、その他
経済成長論	ハロッド=ドーマーの成長理論、新古典派成長理論、経済成長と経済政策、内生的成長理論、その他
産業経済学	市場構造と利潤率、参入阻止理論、水平的・垂直的統合、垂直的取引制限、スピアウト（オフ）・スピイン、ベンチャー・キャピタル、リサーチパーク、その他
計量経済学	単純回帰モデル、重回帰モデル、系列相関、単位根と共和分、連立方程式モデル、その他
システム科学	ORの考え方、スケジューリング問題の基礎、クリティカル・パス、確率PERT、待ち行列理論の基礎、ポアソン到着と指数サービス、M/M/1待ち行列、シミュレーションの基礎、その他
情報数学	分岐・繰り返しを用いた基本的なアルゴリズム、問題の数学的な方法による分析、問題処理するアルゴリズムの作成、アルゴリズムの流れ図による表現、その他
情報通信論	プロトコル、カプセル化、IPアドレッシング、経路選択、誤り検出、共通鍵暗号、公開鍵暗号、IoT、クラウドコンピューティング、サイバーフィジカルシステム、MCP、その他
情報社会論	情報社会一般、情報環境、情報保護、情報財産、情報犯罪、情報倫理、IT革命、その他（情報社会をめぐる諸問題）
ソフトウェア	ソフトウェアライフサイクルプロセス（SLCP）、システムライフサイクルプロセス、プロセス評価、ソフトウェア開発、システム調達、ITプロセスマネジメント、その他
シミュレーション論	モンテ・カルロ・シミュレーション、待ち行列モデル、動的モデル、ランダムウォーク、マルチエージェント・シミュレーション、その他
プロジェクトマネジメント	統合マネジメント、スコープ・マネジメント、タイム・マネジメント、コスト・マネジメント、品質マネジメント、人的資源マネジメント、コミュニケーション・マネジメント、リスク・マネジメント、調達マネジメント、ステークホルダー・マネジメント、その他
環境ガバナンス	市場の失敗、環境政策（直接規制、間接規制、排出権取引、自主的取り組みなど）、公共財の理論、交渉問題、技術革新、その他
コンピュータグラフィックス	座標系、モデリング、マテリアル、リギング、アニメーション、カメラワーク、ライティング、レンダリング、ヒューマン・コンピュータ・インタラクション、拡張現実、仮想現実、生成AI、その他

# 経済科学研究科博士後期課程概要

## 1. 目的と構成

広島修道大学大学院経済科学研究科は、実際の現代経済をシステム科学や情報科学の手法を駆使して分析することを系統的に教育研究するとともに、豊かな専門的学識を備えた人材を養成することを目的として、まず2001年4月に博士前期課程としての修士課程が設置され、さらに2003年4月スタートの博士後期課程増設が認可されるに及んで、1研究科に2専攻を擁する全国有数の経済科学系大学院として完成した。ここに改めて自立性・独創性ある研究者および高度専門職業人の養成につとめるとともに社会人の究極のキャリアアップ教育の機会をも提供したい。

経済科学研究科	現代経済システム専攻	博士後期課程	入学定員	2名
	経済情報専攻	博士後期課程	入学定員	2名

## 2. 各専攻の教育と特色

◆**現代経済システム専攻**は、経済政策、公共経済、金融経済、国際経済など、現在の経済社会における重要問題を視野に捉え、様々な社会科学的学識および各種の情報技術・統計技法等を修得し、新たな経済システムの構築を目指して政策提案的な研究を行う。

現代経済システム専攻博士後期課程では、博士前期課程の教育内容・研究内容をさらに深化させ、専門科目を次の3分野をもって構成する。

- ①「理論・計量経済」分野…現代経済の理論的基礎および計量的手法等を研究する。  
「ミクロ経済学特殊研究」、「マクロ経済学特殊研究」、「計量経済学特殊研究」
- ②「政策・公共関係」分野…消費・産業・公共・環境等に注目しつつ、現代の経済問題を政策的見地から研究する。  
「労働経済学特殊研究」、「産業政策論特殊研究」、「社会保障論特殊研究」、「財政学特殊研究」、「経済政策特殊研究」、「環境経済学特殊研究」、「環境経済評価特殊研究」
- ③「金融・国際関係」分野…グローバル化の金融経済や国際経済における諸問題を実践的・実地的に研究する。  
「金融統計特殊研究」、「金融システム特殊研究」、「国際貿易特殊研究」、「西洋経済史特殊研究」、「金融経済分析特殊研究」

◆**経済情報専攻**は、経済分析の重要ツールであるシステム科学と情報科学の最新手法の研究に取り組む。また、これらの手法を、経済さらには経営・社会・環境等の諸システムに適用することを目指していく。経済情報専攻博士後期課程では、博士前期課程の教育内容・研究内容をさらに深化させ、専門科目を次の3分野をもって構成する。

- ①「情報化社会・情報化経済」分野…情報が社会発展や経済成長に及ぼす影響など、今日の情報化社会・情報化経済の研究を行う。

- 「情報社会特殊研究」、「ゲームと情報の経済学特殊研究」、「経済成長モデル特殊研究」
- ② 「システム・数理関係」分野…システム科学や数理科学の諸手法の研究および経済・経営等への適用を研究する。  
「信頼性理論特殊研究」、「経営数理特殊研究」、「応用数学特殊研究」、「環境情報システム特殊研究」、「社会システムシミュレーション特殊研究」
- ③ 「コンピュータ・情報関係」分野…コンピュータやネットワークなど、情報科学の諸手法の研究および経済・経営等への適用を研究する。  
「情報数学特殊研究」、「情報処理特殊研究」、「情報ネットワーク特殊研究」、「コンピュータグラフィックス特殊研究」、「ソフトウェア応用特殊研究」

### 3. 履修方法および研究指導の方法

博士後期課程の出願に際して希望する研究指導教員名を記載した研究計画書を提出し、それに基づく口述試験や語学試験を受験し、研究能力の適性等の総合判断によって合格すれば、研究指導教員のもとで同教員担当科目を中心とする学修、研究プランが立案され、実行に移される。具体的な履修方法は次のとおり。

- ① 指導教員が担当する「特殊研究指導」を履修して、学位論文の作成、その他研究全般について指導を受けるものとする。
- ② 指導教員が担当する「特殊研究指導」を履修して、各年4単位、合計12単位を修得するものとする。
- ③ 前記②の単位認定は、研究指導に関わる研究報告書（単位取得認定論文）の評価によって行う。
- ④ 指導教員と相談の上、研究遂行に必要な知識修得のため、指導教員の「特殊研究」及び指導教員以外の「特殊研究」を履修することができる。指導教員以外の「特殊研究」は、担当者の許可を受けて履修するものとする。
- ⑤ 博士の学位論文は、専攻した研究指導について提出するものとする。

### 4. 授業の実施方法

本課程では職業人、社会人の便宜をはかって昼夜開講制を導入し、社会人の特殊研究指導は、原則として平日の夜の時間帯6・7限目（18：30～21：35）に開講する。一般学生の特殊研究指導は、平日の昼の時間帯1～5限目（9：00～18：00）に開講する。

### 5. 修了要件と学位

3年以上在学し、指導教員が担当する「特殊研究指導」12単位を修得し、学位論文の審査および最終試験に合格しなければならない。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績をあげた者については、本大学院に1年以上在学すれば足りるものとする。学位は次のとおりである。

現代経済システム専攻	博士（経済学）
経済情報専攻	博士（経済情報）

## 6. 学位の授与

### ① 学位授与判定基準

博士論文は「博士論文の評価基準」と「最終試験の評価基準」に基づき評価される。

#### 博士論文の評価基準

- (1) 学位申請者が主体的に取り組んだ研究である。
- (2) 研究テーマ、研究内容及び研究方法が適切である。
- (3) 論旨が明確であり、論述に論理性及び一貫性がある。
- (4) 既存の研究に独自の知見を加えた新規性あるいは独創性を有している。
- (5) 当該専門分野に対して学術上の寄与が認められるものである。
- (6) 先行研究の引用等、論文としての形式が適切である。
- (7) 研究倫理面の配慮が適切かつ十分になされている。

#### 最終試験の評価基準

- (1) 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づいた能力を有していること。
- (2) 博士論文の評価基準に関する質疑に対して論理的かつ明快に応答ができること。

## 授業科目および担当教員（2026年度）

### (1) 現代経済システム専攻

授業科目の名称	職名	担当教員
ミクロ経済学特殊研究	准教授	Ph. D. in Economics      鈴木 貴晶
マクロ経済学特殊研究 特殊研究指導		
計量経済学特殊研究	准教授	博士（経済学）          塗師本 彩
労働経済学特殊研究 特殊研究指導	教授	博士（経済学）          岡村 和明
産業政策論特殊研究 特殊研究指導	教授	太田耕史郎
社会保障論特殊研究	教授	博士（経済学）          迫 一光
財政学特殊研究 特殊研究指導	教授	森岡 一憲
経済政策特殊研究 特殊研究指導	教授	博士（学術）          河合 伸治
金融統計特殊研究 特殊研究指導		
金融システム特殊研究		
国際貿易特殊研究		
西洋経済史特殊研究	准教授	Ph. D.                  河野 淳
環境経済学特殊研究 特殊研究指導	教授	博士（経済学）          羅 星仁
環境経済評価特殊研究		
ファイナンス特殊研究		
金融経済分析特殊研究	教授	博士（経済学）          劉 亜静

※事情により不開講となる科目があります。

## (2) 経済情報専攻

授 業 科 目 の 名 称	職 名	担 当 教 員
信頼性理論特殊研究 特殊研究指導	准 教 授	博士（工学） 古山 滋人
経営数理特殊研究		
応用数学特殊研究	教 授	博士（理学） 田神 慶士
情報数学特殊研究 特殊研究指導	教 授	博士（理学） 角谷 敦
情報処理特殊研究		
環境情報システム特殊研究		
環境ガバナンス特殊研究	教 授	博士（経済学） 岩田 裕樹
情報ネットワーク特殊研究 特殊研究指導	教 授	博士（情報工学） 出木原裕順
プロジェクトマネジメント特殊研究 特殊研究指導	教 授	博士（学術） 佐藤 達男
コンピュータグラフィックス特殊研究 特殊研究指導		
情報社会特殊研究 特殊研究指導	教 授	博士（学術） 阿濱志保里
ゲームと情報の経済学特殊研究		
経済成長モデル特殊研究 特殊研究指導	教 授	博士（経済学） 前田 純一
社会システムシミュレーション特殊研究 特殊研究指導	教 授	博士（学術） 井寄 幸平
ソフトウェア応用特殊研究	教 授	博士（経済情報） 脇谷 直子

※事情により不開講となる科目があります。

# 募 集 要 項

## 博士後期課程

経済科学研究科現代経済システム専攻・経済情報専攻博士後期課程の学生を次のとおり募集する。

### 1 募集人員

募 集 人 員	現代経済システム専攻	経済情報専攻
	2名	2名
一般入学試験	若干名	若干名
外国人留学生入学試験	若干名	若干名
社会人入学試験	若干名	若干名
シニア特別入学試験	若干名	若干名

### 2 出願資格

#### ●一般入学試験

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者（見込みを含む）
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに24歳に達したもの

注1) 出願に先立ち入学センターに問い合わせたうえで、第1次募集は2026年7月24日（金）まで、第2次募集は2027年1月8日（金）までに、研究指導を受けようとする教員と連絡を取り、研究分野等について事前に相談すること。

注2) 出願資格(6)にもとづき出願する者は、出願に先立ち、第1次募集においては2026年6月16日（火）、第2次募集においては2026年11月20日（金）までに入学センターに詳細を問い合わせたうえで、入学資格認定申請書（所定の用紙）を提出すること。

#### ●外国人留学生入学試験

外国人留学生で、次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者（見込みを含む）
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

注1) 出願に先立ち入学センターに問い合わせたうえで、第1次募集は2026年7月24日（金）まで、第2次募集は2027年1月8日（金）までに、研究指導を受けようとする教員と連絡を取り、研究分野等について事前に相談すること。

### ●社会人入学試験

次のいずれかに該当し、修士課程修了後2年以上、4年制大学卒業後または学士の学位取得後4年以上経た社会人

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者（見込みを含む）
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

注1）出願に先立ち入学センターに問い合わせたうえで、第1次募集は2026年7月24日（金）まで、第2次募集は2027年1月8日（金）までに、研究指導を受けようとする教員と連絡を取り、研究分野等について事前に相談すること。

### ●シニア特別入学試験

次のいずれかに該当し、入学時に60歳以上の者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者（見込みを含む）
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

注1）出願に先立ち入学センターに問い合わせたうえで、第1次募集は2026年7月24日（金）まで、第2次募集は2027年1月8日（金）までに、研究指導を受けようとする教員と連絡を取り、研究分野等について事前に相談すること。

\*上記の出願資格のうち「見込み」による志願者については、入学試験合格後、2027年3月31日までに入学資格を満たすことができないことが確定した場合、入学を取り消すこととする。

## 3 出願期間

第1次募集 2026年8月18日（火）～2026年8月25日（火）（締切日当日必着）

第2次募集 2027年1月25日（月）～2027年2月4日（木）（締切日当日必着）

## 4 出願書類

### ●一般入学試験、●外国人留学生入学試験

- (1) 入学志願票（本学所定の用紙）
- (2) 成績証明書（原本に限る）
- (3) 学位取得（見込）証明書（原本に限る）
- (4) 研究計画書（研究上の目標および計画について本学所定の用紙に記入する。文書作成ソフトも可。）
- (5) 修士論文またはその概要書（日本語で8,000字程度）
- (6) 検定料 30,000円（郵便為替（普通為替）とし、普通為替証書には何も記入しないこと。）

\*外国人留学生入学試験については、上記の他に「履歴書」（本学所定の用紙）、「留学にかかる収入予定書」（本学所定の用紙）を必要とする。

\*外国人留学生諸納付金減免制度については、46ページを参照すること。

\*出願書類（本学所定の用紙）は日本語または英語によって記入すること。また出願書類(2)、(3)は原則として和文または英文のものとし、それ以外の場合は、日本語または英語によって訳文を添付すること。

\*学位取得（見込）証明書の取得が困難な場合は、修了（見込）証明書をもってこれに代えることができる。また、修士論文またはその概要書の提出が困難な場合は、著書、論文、報告書等自己の能力を証する資料をもってこれに代えることができる。

●社会人入学試験、●シニア特別入学試験

- (1) 入学志願票（本学所定の用紙）
- (2) 成績証明書（原本に限る）
- (3) 学位取得証明書（原本に限る）
- (4) 研究計画書（研究上の目標および計画について本学所定の用紙に記入する。文書作成ソフトも可。）
- (5) 修士論文、公表した研究論文等、またはその概要書（日本語で8,000字程度）
- (6) 検定料 30,000円（郵便為替（普通為替）とし、普通為替証書には何も記入しないこと。）

5 試験日

第1次募集 2026年9月5日（土）

第2次募集 2027年2月13日（土）

6 試験科目

●一般入学試験

- (1) 英語〈語学辞書（電子式は除く）2冊まで持込み可。ただし、専門用語辞典およびそれに類するものの持込みは不可〉
- (2) 口述

●外国人留学生入学試験

- (1) 英語（日本語または英語で解答する）〈語学辞書（電子式は除く）2冊まで持込み可。ただし、専門用語辞典およびそれに類するものの持込みは不可〉
- (2) 口述（日本語または英語で行う）

\*試験科目を英語で解答し、口述を英語で行うことを希望する者は、出願に先立ち、第1次募集においては2026年7月24日（金）、第2次募集においては2027年1月8日（金）までに入学センターにお問い合わせください。

●社会人入学試験、●シニア特別入学試験

口述

7 試験時間割

一般入学試験		外国人留学生入学試験		社会人入学試験		シニア特別入学試験	
英語	11:20~12:30(70分)	英語	11:20~12:30(70分)				
口述	13:30~	口述	13:30~	口述	13:30~	口述	13:30~

8 配点

●一般入学試験、●外国人留学生入学試験

英語 100点 口述 100点 合計 200点

●社会人入学試験、●シニア特別入学試験

口述 100点

## 9 選抜方法

### ●一般入学試験、●外国人留学生入学試験

英語、口述試験の結果および出願書類にもとづき、総合的に判定する。

### ●社会人入学試験、●シニア特別入学試験

口述試験の結果および出願書類にもとづき、総合的に判定する。

## 10 試験場

本学

## 11 合格者発表

第1次募集 2026年9月11日（金）

第2次募集 2027年2月22日（月）

## 12 入学手続

第1次募集

（1次手続） 2026年9月14日（月）～2026年9月30日（水）（期間厳守）

（2次手続） 2027年2月22日（月）～2027年3月3日（水）（期間厳守）

第2次募集

（一括手続） 2027年2月22日（月）～2027年3月3日（水）（期間厳守）

\*期間内に入学手続きのない場合は、いかなる理由があろうとも入学を許可しません。

\*入学手続き（前期分諸納付金納入）を行った後に、入学を辞退する者については、入学金を除く前期分諸納付金を返還します。返還を希望する者は、「入学辞退届」を、2027年3月31日（水）（**必着**）までに入学センターに提出してください。

## 13 出願先

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1

広島修道大学 入学センター（TEL 082-830-1100）

## 14 諸納付金

	現代経済システム専攻	経済情報専攻
入学金	220,000円	220,000円
在学料	490,000円	520,000円
初年度合計	710,000円	740,000円

\*広島修道大学大学院博士前期課程から入学する者の入学金は免除とする。

\*入学金は入学年度のみ納入する。

## 15 奨学金制度

本学で取り扱っている奨学金は下表のとおりです。

種 別	貸 与 月 額
日本学生 支援機構	第一種奨学金(※) (無利子) 80,000円または122,000円のいずれか希望する額 第二種奨学金 (有利子) 5万円・8万円・10万円・13万円・15万円のうち希望により選択

※日本学生支援機構では、大学院において第一種奨学金の貸与を受けた学生であって、在学中に特に優れた業績を挙げた者として日本学生支援機構が認定した場合には、貸与期間終了時に第一種奨学金の全部または一部の返還が免除される「特に優れた業績による返還免除」という制度があります。詳細は、学生センター（082-830-1117）へ問い合わせてください。

## 16 外国人留学生諸納付金減免制度

広島修道大学では、外国人留学生を経済的に支援するための諸納付金減免制度を設けています。諸納付金減免を希望する人は、必要書類を出願書類とあわせて提出してください。

### 1. 申請資格

出入国管理および難民認定法別表第1に定める「留学」の在留資格を保有、または取得見込みの外国人留学生であって、経済的に修学が困難と認められるものであり、次の(1)から(3)をすべて満たす者

「留学」の在留資格を取得見込みの場合は、事前に国際センターへ問い合わせてください。

- (1) 母国から入学金・授業料等以外の仕送りがある場合、その平均月額が90,000円以下であること
- (2) 日本に居住する扶養者がある場合、その年収が500万円未満であること
- (3) 入学試験の成績が優秀であること

### 2. 提出書類

次の(1)および(2)すべての書類を出願書類とあわせて提出すること

- (1) 諸納付金減免申請書（本学所定用紙）
- (2) 在留資格を示す書類の写し（在留カード、もしくはパスポートの該当ページ）

※在留カードは両面コピーすること

### 3. 選考方法

入学試験成績および申請書一式により選考する。

### 4. 減免範囲および採用人数

減免範囲	採用人数
在学料の全額	入学試験の得点率上位21位以内の者
在学料の半額	入学試験の得点率上位22位から26位までの者

※大学院博士後期課程を優先し、残余数を大学院修士課程または博士前期課程に充てる

### 5. 減免対象期間

入学時から1年間（2年次以降は再度申請が必要）

## 6. 決定通知

諸納付金減免の採否決定通知は、第2次募集の合格発表日に速達で郵送します。

諸納付金減免に関する問い合わせ先  
国際センター（082-830-1103）

## 17 その他

(1) 障がいなどのある志願者で、受験上の配慮について要望がある場合、および入学後の就学について特別の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、第1次募集においては2026年7月24日（金）、第2次募集においては2027年1月8日（金）までに入学センターに問い合わせること。

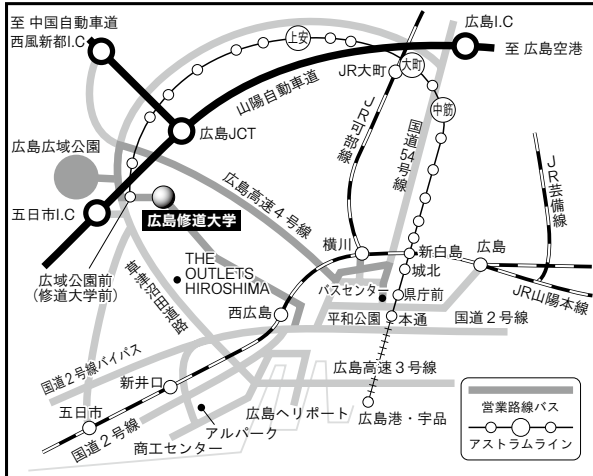
(2) 願書は、速達簡易書留で郵送してください。

(3) 志願票および出願書類の記載事項は、入学試験に係る事務処理に使用し、それ以外の目的に使用することはありません。

(4) 教育ローン

公的な融資機関として日本政策金融公庫があります。相談については教育ローンコールセンター（TEL 0570-008656）へ問い合わせてください。

## 本学への交通案内

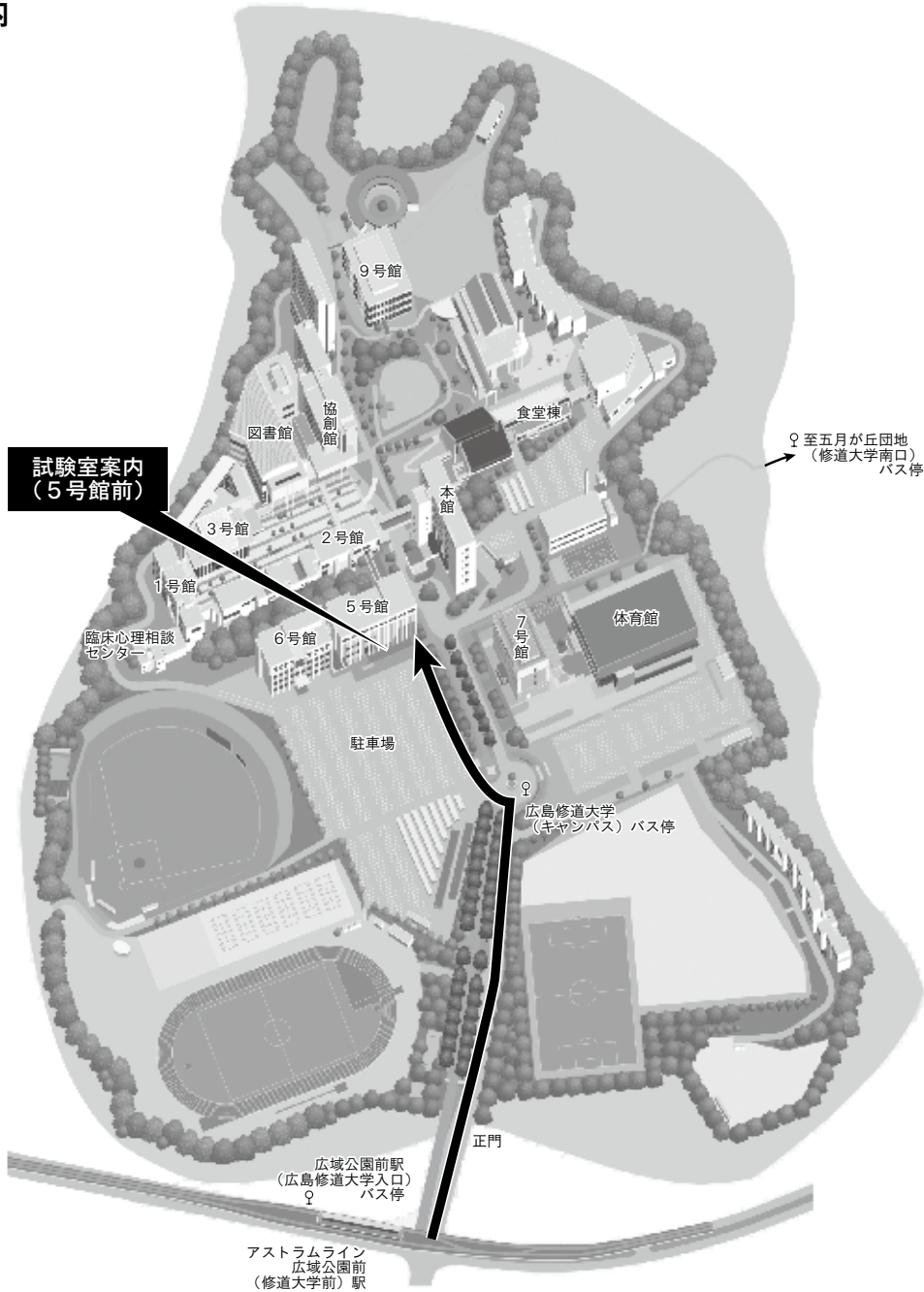


アストラムライン 県庁前駅	約36分	アストラムライン	約32分	広島公園前駅 (修道大学前)
広島駅	約3分	新白鳥駅	約18分	広島修道大学 キャンパス バス 停
	約25分	大町駅	約19分	
広島 バスセンター	約5分	横川駅	約19分	五月が丘団地 (修道大学南口)
	約7分	横川駅	約19分	
西広島駅	約24分 (ジアウトレット広島を経由するバスの場合約32分)	ボンバス「五月が丘団地行」		五月が丘団地 (修道大学南口)
広島 港品	約30分	市内電車	約37分	広島公園前駅 (修道大学前)
マイカー利用		本通		

五日市IC 左に出て沼田方面へ向かってすぐ  
\*曜日によって運行されないものもありますので十分注意してください。

広島修道大学

## キャンパス案内



## 受験上の注意

- (1) 試験当日は、試験開始20分前までに、試験室に入室してください。
- (2) **筆記試験においては、試験開始後20分以上の遅刻者は受験を認めません。**  
また、口述試験および面接試験においては、試験開始時刻を経過した場合は、受験を認めません。
- (3) **1限目の試験を受験しないと、2限目以降の受験は認められませんので注意してください。**
- (4) 受験票は必ず携行して、各時限とも机の上に置いてください。
- (5) 受験票を忘れてたり紛失した場合は、入試本部に申し出てください。
- (6) 黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）、目薬以外の使用はできません（持ち込み可の辞書類は除く）。
- (7) 漢字や英単語がプリントされている衣服は着用しないでください。
- (8) 不正行為者には退場を命じ、全科目を無効とします。
- (9) 携帯電話等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってカバン等に入れてください。試験時間中にこれらをカバン等に入れずに、身につけていたり手に持っていたりすると不正行為になります。また、試験時間中にイヤホンを装着している場合も、不正行為になります。
- (10) 試験時間の途中での退室は認めません。試験室においては、すべて試験監督者の指示にしたがってください。
- (11) 試験室には壁掛時計を設置していません。時計を持参してください。なお、計算機能や辞書機能および通信機能付きの時計は使用できません。また、携帯電話等は時計として使用できません。
- (12) 台風や積雪等による気象状況の悪化、感染症等により入学試験実施が危ぶまれる場合は、本学ホームページ（<http://www.shudo-u.ac.jp>）および入試情報サイト（<https://www.shudo-u.ac.jp/admissions/>）にて延期および開始時間繰り下げ等の対応をお知らせしますので必ずご覧ください。





(自筆・ボールペンで記入すること。該当するものを○で囲むこと。)

※印は記入しないこと

研究科・専攻		募集時期		入 試 制 度				受 験 番 号			
+ P13	現代経済システム専攻	1	第1次募集	1	一般	5	学部生推薦	※			
				2	外国人留学生	6	資格取得者				
P33	経済情報専攻	2	第2次募集	3	外国人留学生推薦	7	大学院生				
				4	社会人	8	シニア特別				
ふりがな						生 年 月 日			性 別		
氏 名 (姓) (名)						西 暦 年		月	日	1	男
										2	女
現 住 所 (連絡先)		(郵便番号 - )				TEL ( )		-			
		都・道 府・県				携 帯 ( )		-			
入 学 資 格		大 学		学 部		学 科		入 学 時 期		2027年4月	
		年 月		( 専攻 )		卒業・卒業見込		※外国人留學生推薦入試のみ記入		2027年9月	
履 歴 (学歴及び職歴) について記入		年 月		年 月		年 月		年 月		年 月	
		年 月		年 月		年 月		年 月		年 月	
		年 月		年 月		年 月		年 月		年 月	
		年 月		年 月		年 月		年 月		年 月	
		年 月		年 月		年 月		年 月		年 月	
		年 月		年 月		年 月		年 月		年 月	

(切り取らずニツ折にして提出のこと)

受 験 票 (B)

2027年度 広島修道大学大学院 経済科学研究科博士前期課程	
1. 現代経済システム専攻 2. 経済情報専攻 (志望専攻を○で囲むこと)	
1. 一般 2. 外国人留学生 3. 外国人留学生推薦 4. 社会人 5. 学部生推薦 6. 資格取得者 7. 大学院生 8. シニア特別 (該当するものを○で囲むこと)	
受験番号	※
ふりがな	
氏 名	
受 験 科 目	専門科目名
	英語または日本語または数学 (外国人留学生は日本語)
	英語及び日本語試験 の免除を受ける者は 右欄に「免除」と記入
※検定料領収印	
(本票をもって検定料の領収書とします)	

照 合 票 (C)

2027年度 広島修道大学大学院 経済科学研究科博士前期課程	
1. 現代経済システム専攻 2. 経済情報専攻 (志望専攻を○で囲むこと)	
1. 一般 2. 外国人留学生 3. 外国人留学生推薦 4. 社会人 5. 学部生推薦 6. 資格取得者 7. 大学院生 8. シニア特別 (該当するものを○で囲むこと)	
受験番号	※
ふりがな	
氏 名	
受 験 科 目	専門科目名
	英語または日本語または数学 (外国人留学生は日本語)
	英語及び日本語試験 の免除を受ける者は 右欄に「免除」と記入
※検定料領収印	
カラー写真貼付欄 1. 上半身脱帽正面背景なし (写真の裏に氏名と志願 研究科を明記し、貼付 してください。) 縦 4cm 横 3cm 2. 最近3か月以内に撮影	

(切り取り提出のこと)



(自筆・ボールペンで記入すること。該当するものを○で囲むこと。)

※印は記入しないこと

+

研究科・専攻		募集時期		入 試 制 度		受 験 番 号					
Q11	現代経済システム専攻	1	第1次募集	1	一般	※					
				2	外国人留学生						
Q31	経済情報専攻	2	第2次募集	3	社会人						
				4	シニア特別						
ふりがな						生 年 月 日			性 別		
氏 名		(姓)		(名)		西 暦 年	月	日	1	男	
									2	女	
現 住 所 (連絡先)		(郵便番号 - )				TEL ( ) -					
		都・道 府・県				携 帯 ( ) -					
入 学 資 格		大学大学院 大学				研究科 学 部 ( )		専攻 学 科 専攻 ( )			
		年 月				修了・修了見込・卒業					
履 歴 (学歴及び職歴) について記入		年 月		年 月		年 月		年 月		年 月	
※欄が不足する場合は、 任意書式(A4)に て添付ください。		年 月		年 月		年 月		年 月		年 月	

+

(切り取らずニツ折にして提出のこと)

### 受 験 票 (B)

2027年度 広島修道大学大学院 経済科学研究科博士後期課程	
1. 現代経済システム専攻 2. 経済情報専攻 (志望専攻を○で囲むこと)	
1. 一般 2. 外国人留学生 3. 社会人 4. シニア特別 (該当するものを○で囲むこと)	
受験番号	※
ふりがな	
氏 名	
※検定料領収印	
(本票をもって検定料の領収書とします)	

### 照 合 票 (C)

2027年度 広島修道大学大学院 経済科学研究科博士後期課程	
1. 現代経済システム専攻 2. 経済情報専攻 (志望専攻を○で囲むこと)	
1. 一般 2. 外国人留学生 3. 社会人 4. シニア特別 (該当するものを○で囲むこと)	
受験番号	※
ふりがな	
氏 名	
※検定料領収印	
カラー写真貼付欄 1. 上半身脱帽正面背景なし (写真の裏に氏名と志願 研究科を明記し、貼付 してください。) 縦 4cm 横 3cm 2. 最近3か月以内に撮影	

(切り取り提出のこと)





(切り取り提出のこと)

+

+

Blank lined area for writing, consisting of multiple horizontal dashed lines.

(切り取り提出のこと)

# 推 薦 書

受験番号	*	氏 名	
------	---	-----	--

志願者を推薦する理由、とくに志願者の学力、学習態度、その他特記に値する活動など、選考上、参考になるような所見を記入してください。

+

(切り取り提出のこと)

+

\*印は記入しないこと

年 月 日

大学名

推薦者職名・氏名

印

## 長期履修学生願

日付・署名を記入し、押印してください。

受験番号	*（記入しない）	氏名	
------	----------	----	--

希望する修業年限	3年 ・ 4年	（希望する修業年限を○で囲んでください。）
----------	---------	-----------------------

申請の理由

+

+

（切り取り提出のこと）

年 月 日 署名 印

履 歴 書

RESUME

※印は記入しないこと

氏 名 Full name					受験番号※
生 年 月 日 Date of Birth	(month)	(day)	(year)	性別 Sex	男 女 Male Female
国 籍 Nationality	現在所有のビザ Status of Residence			ColorPhoto(写真) 上半身脱帽正面で、 3か月以内に撮影 したものを貼付し てください。 (4 cm × 3 cm) Taken within 3 months, half length, without hat, full front face.	
日本語能力 (○で囲む) Knowledge of Japanese (Circle)	優 Excellent	良 Good	可 Fair	不可 Poor	
日本語を学習した学校・機関名を記入すること。Name the school and/or facilities where you learned Japanese. 学校名 期 間 (month)(year) (month)(year) School Term From . To .					
+ 学歴 Educational Background (注) 小学校から始めて、通学したすべての学校を年代順に記入すること。 Note: List, in chronological order, all the schools you attended starting with Elementary (Primary) School.					
学 校 名 School	学 校 所 在 地 Location	在 学 期 間 Period of Attendance (month)(year) (month)(year) . To .			
		. To .			
		. To .			
		. To .			
		. To .			
+ *欄が不足する場合は、任意書式(A4)にて添付すること。					
職 歴 Occupational experience					
勤 務 先	所 在 地	期 間 (month)(year) (month)(year) . To .			
		. To .			
		. To .			
兵 役 Military Background 終 了 Inducted	(month) (year) .	その他 Other remarks			
日本における住所 Address in Japan					
本国における住所 Home Address					

(切り取り提出のこと)

留学にかかる収入予定書  
STATEMENT OF SOURCE OF FUNDS

氏名 (Full name)	国籍 (Nationality)	受験番号 (Application No.) (記入しない) ※
志望研究科 (Postgraduate course)	専攻 (Major)	課程 (Course)

1年間の留学にかかる学費・生活費の支払い方法について記述すること。  
(State the source of funds to cover all the expenses required for one-year study in Japan)

+ [収入項目] Source of funds	[金額] Amount
現金 (Cash)	¥
預金 (Deposit)	¥
送金 (Remittance)	¥
奨学金 (Scholarship)	¥
	¥
	¥
	¥
☆合計 (Total)	¥
署名 Signature	

(切り取り提出のこと)

## 諸納付金減免申請書

年 月 日

学校法人 修道学園  
理事長 林 正 夫 様

私は、広島修道大学大学院への入学を希望します。入学した際には、広島修道大学大学院諸納付金納入規程第3条第2項に基づき、下記の理由により諸納付金を減免していただきたく、申請します。記載内容に虚偽があった場合は申請を取り下げ、正規の諸納付金を納付します。

志望研究科	研究科	専攻	課程
受験番号		出身の国、地域	
氏名		性別	男・女
アルファベット氏名 ※在留カード記載の氏名		生年月日	年 月 日
住所 連絡先	〒 - E-mail : @ TEL ( )- -		
母国住所			
在学予定期間	年 月 ~ 年 月		
諸納付金の減免を 希望する理由 *具体的に記入すること			

(切り取り提出のこと)

## 【経済状況】

### 1. 母国から入学金、在学料等以外の仕送りがありますか（○をしてください）

はい（月額 \_\_\_\_\_ 万円） ・ いいえ

### 2. 在日扶養者はいますか（○をしてください）

はい（年収 \_\_\_\_\_ 万円） ・ いいえ

### 3. 1か月の平均収入・支出状況（入学後の予定）

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
アルバイト収入	円	勉 学 費	円
母国からの送金	円	住 居 費	円
在日扶養者からの収入	円	光 熱 水 費	円
奨 学 金	円	食 費	円
そ の 他	円	そ の 他	円
合 計*	円	合 計*	円

※ 合計には、入学金及び在学料等を含めること。また、収入と支出の合計金額は同じにすること。

## 【奨学金受給状況】

現在受けている奨学金、または受ける予定の奨学金があれば、その名称、受給期間および受給金額を記入してください。

奨学金名称 \_\_\_\_\_

受給期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月

受給金額 月額 \_\_\_\_\_ 円

### 【在留資格の確認】

- 在留カードまたはパスポートの該当ページのコピーを添付しましたか。  
 現在の在留資格が「留学」以外の方は、事前に国際センターに連絡しましたか。

本申請書に記載の個人情報は、諸納付金減免申請手続きの目的にのみ使われます。

---

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号 広島修道大学 入学センター

---

TEL 082-830-1100